

**朝鮮労働党第8回大会の主要文献集****2021年1月5日～12日****【主要文献】**

金正恩委員長の開会の辞	1
金正恩委員長の朝鮮労働党中央委員会第7期活動報告	4
朝鮮労働党の規約改正について	19
朝鮮労働党中央検査委員会の活動総括について	21
朝鮮労働党総書記の推戴について	22
朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会について	24
朝鮮労働党第8回大会部門別協議会について	25
朝鮮労働党第8回大会の閉幕について	26
金正恩総書記の結論	27
朝鮮労働党第8回大会で採択された決定書について	32
金正恩総書記の閉会の辞	32

**【解説】**

党第8回大会の基本思想、基本精神	労働新聞	35
過去5年の総括期間における成果の根本要因	労働新聞	36
新たな国家経済発展5カ年計画の中心的課題	労働新聞	38
全党がより高く掲げるべき三つの理念	労働新聞	39
為民献身は幹部の使命であり、本分である	労働新聞	41
第8回党大会から始まる革新と創造	朝鮮新報	42

朝鮮総聯中央本部 国際統一局 〒102-8138 東京都千代田区富士見 2-14-15

Tel: 03-3262-7111/Fax: 03-3262-7110/Email: pa@chongryon.org

## 金正恩委員長の開会の辞 (全文)

2021 年 1 月 5 日

親愛なる代表者の皆さん!

われわれの数百万の党員が愛国忠誠の心を燃やし、真心を尽くして準備し、待ちこがれていた朝鮮労働党第 8 回大会は、朝鮮革命の発展においてきわめて重要かつ責任重大な時期に招集されました。

私はまず、代表者の皆さんと全党の党員、全国の人民と人民軍将兵の限りない忠誠心を込めて、朝鮮労働党の創立者、建設者であり、わが党と国家と人民の永遠なる領袖である偉大な領袖金日成同志と偉大な指導者金正日同志に最も崇高な敬意と最大の栄光を捧げます。

代表者の皆さん!

第 7 回党大会で確定された社会主義建設の当面の目標と任務を遂行するため、わが党と全人民が新しい進軍を始めた時から 5 年の歳月が流れました。

この期間、いまだかつてなかった最悪中の最悪が続いた難局は朝鮮革命の前進に大きな障害をもたらしたが、わが党は自分の闘争綱領を実現するための頑強で正確な実践行動をもって大きな勝利を収めました。

総括期間に一層強化されたわれわれの主体的な力と一段と高まった国の対外的地位は、社会主義建設の新たな高揚期、壮大な激変期が到来したことをはっきりと示しています。

昨年 8 月に開かれた党中央委員会第 7 期第 6 回総会は、革命発展の新たな推移と当時の主・客観的情勢の要求を深く分析、判断し、今回の党大会の招集を決定しました。

今の困難な状況で党大会を招集するのは、内外情勢の変化、発展に及ぼす影響からしても、社会主義政権党であるわが党の闘争展望からしても、大きな意義を持つ特記すべき政治的出来事です。

党大会の招集に関する歴史的な決定が公表されると、全国の人民は大きな感激に包まれて熱烈に支持し、われわれの偉業を敵視し妨げようとするあらゆる反動勢力は甚大な打撃を受けました。

それは、党の最高会議の招集そのものが革命を勝利の次の段階に導いていこうとする朝鮮労働党の確固たる自信の表われであり、国家の将来を担って自己の責務を立派に果たすことによって、人民の大いなる信頼と期待に応えようとする強烈な意志、厳粛な誓いとなるからです。

わが党中央委員会は、朝鮮労働党第 8 回大会を活動する大会、闘争する大会、前進する大会にするということを全世界に明らかにしました。

これは、総括期間の中央委員会の活動を厳正に総括し、朝鮮式社会主義の建設で新たな勝利を得るための正確な闘争方向と任務を今一度確定し、そのための実際の対策を講じるということを党員と人民に対し約束したものです。

この 5 年間の苦難と栄光に満ちた闘争の道程で、わが党が革命闘争と建設事業において収めた成果は決して少ないものではありません。

第 7 回党大会以後、5 千年の民族史に特記すべき奇跡的な勝利と出来事をもたらすことによって、祖国と人民の運命を永遠にしっかりと守ることのできる強力な保証を手にするとともに、経済建設を促進し、人民生活を向上させようの一連の有意義で貴重な成果と土台も築きました。

しかし、国家経済発展 5 カ年戦略の遂行期間は昨年までに終わりましたが、ほとんど全

ての部門が掲げた目標をはなはだしく達成できませんでした。

社会主義建設で絶え間ない新たな勝利を収めるために闘うわれわれの努力と前進を妨げ阻害する様々な挑戦は、外部にも内部にも依然として存在しています。

現在の折り重なる困難を最も確実に、最も早く突破する妙策は、まさにわれわれ自身の力、主体的力量を全面的に強化するところにあります。

欠点の原因を客観にではなく主観に求め、主体の役割を強めて全ての問題を解決する原則から出発して、今回の党大会では、総括期間の経験と教訓、誤謬を全面的に掘り下げて分析、総括し、それに基づいてわれわれが遂行できる、また必ず遂行すべき科学的な闘争目標と闘争課題を確定する予定です。

われわれにはこれまでの成果も貴重ですが、それに蓄積した苦い教訓もきわめて貴重なものです。

これら全ては金銭をもってしても買えないものであり、今後の新たな勝利のための貴重な元手となります。

われわれは、血と汗をもって得た勝利と成果は一層奨励し、拡大、発展させ、苦い教訓は繰り返されないように予防しなければなりません。

特に、そのまま放置しておくより大きな障害、ネックとなる欠点を思い切って認め、二度とそのような弊害が繰り返されないように断固たる対策を講じなければなりません。

今回の党大会はこのような胆力と信念に基づいて開かれました。

第8回党大会が闘争の大会としてその活動を着実に進め、正しい路線と戦略戦術的方针を打ち出すならば、朝鮮革命は新たな飛躍期、高揚期を迎えることになるでしょう。

また、この大会を分水嶺にして、国家の復興、発展と人民の幸福のための朝鮮労働党の闘争は新たな段階へ移行することになるでしょう。

代表者の皆さん!

党中央委員会は、今回の大会を活動する大会、闘争する大会、前進する大会にする準備を着実に進めるためにこの4カ月間次のような活動に主力を注ぎました。

まず、第7回党大会の決定の実行状況を全面的かつ立体的に、細部にわたって分析、総括し、今後の前進と発展のための経験と教訓を汲み取る活動を行いました。

そのために党中央委員会は、非常設中央検閲委員会を設置し、下部に派遣して実態を把握し、現場で働く労働者、農民、知識人党員の意見を真摯に聞くようにしました。

実態調査は、グループを各道に派遣して実態を把握させた上で、各省・中央機関に方向別、部門別に派遣して電撃的に、全面的に、具体的に行うようにしました。

実態調査グループは、第7回党大会の決定の貫徹で誤りを犯したのは何か、十分できることもせずに怠ったのは何か、実利的に行ったのは何で形式的に行ったのは何か、間違ったことがあればその原因は何か、党の指導において欠点は何かといったことをはじめその真相を解剖学的に調べました。

党大会の準備期間、党中央委員会の各部署と全国の党組織は、この5年間の活動状況を総括した資料とともに、今後の闘争目標と計画に関する革新的かつ具体的な意見を党中央委員会政治局と大会準備委員会に提出しました。

この過程でわれわれは、大衆こそ立派な師だという貴重な真理を今一度確認し、党大会の準備を進めながら党組織と党員の意見を広く聞くようにしたのが全く正しかったということを確信しました。

このような活動は、われわれの党大会が名実共に全ての党員の総意を反映させた革命的大会、戦闘的大会となり、今後採択される党大会の決定が全党の組織的意思となるようにするうえで重要な意義を持ちました。

党大会の準備活動の一環としてこの5年間の党の財政活動を分析、総括し、改善対策を

研究する活動も行いました。

また、わが党の規約で、以前の古いもの、他人のものを機械的に踏襲して現実とかけ離れていた諸問題を、発展する革命の要請と主体的な党建設原理に即して是正するための深みのある研究を行いました。

これとともに、第7期党中央指導機関のメンバーの活動状況を全面的に検討し、党の強化、発展と革命活動にどれほど寄与したかを評価しました。

党大会を控えて全党的に、基層党組織と道・市・郡党委員会、同等の機能を果たす党委員会で指導機関の活動総括を着実にやり、今後党大会の決定の貫徹において中核的役割を果たせる党員を基本にして党大会の代表者を選出する党会議も成功裏に行われました。

朝鮮革命の新たな闘争の道を示す第8回党大会のために、全党の党員と全国の人民は正面突破戦の意気高く党創立75周年を大慶事として輝かせ、忠誠の「80日間戦闘」に総決起し、目ざましい成果を達成して党大会の成功的開催を保障しました。

党大会を前にした尊厳ある自己の党に栄光と力を添えるために誠意と努力を尽くしたわが党員と人民の高い政治的熱意は、今の世界ではどこにも見られない強い革命性の噴出です。

あれほど困難を極めた昨年的一年間、かつてなく長引いている史上初の世界的な保健危機の中でも難関を果敢に乗り越えながら防疫活動で全人民的な自発的の一致性を堅持し、それを愛国的義務として防疫の安定的形勢を一貫して保障し、自然災害復旧闘争にこぞって立ち上がって全国各地に2万余世帯の立派な住宅を新しく建設したその偉大な功績は、わが党の戦闘記録集に今一つの誇らしいページを残しました。

この他にも、全国各地の多くの戦域でわれわれの党員と各階層の勤労者は、貴重な数々の成果が記録された戦闘成果報告書を党中央委員会に送ってきました。

私は、幾多の困難を乗り越える苦難に満ちた闘争の中で、党の周りに磐石のごとく結集した団結の威力を一層強く発揮し、燃えるような愛国献身と偉大な勝利をもって第8回党大会をしっかりと守った全党の党員と全国の人民、人民軍将兵に心からの謝意と戦闘的な挨拶を送ります。

そして、栄えあるこの席を借りて、総聯（在日本朝鮮人総聯合会）をはじめとする海外同胞組織と全ての海外同胞に温かい挨拶を送ります。

私は朝鮮労働党第8回大会の名で、党の強化、発展と祖国の富強・繁栄のために、人民の幸福と子孫の未来のために貴い命を惜しみなく捧げた革命同志たち、ここに参加できなかった忘れえぬ戦友たちを敬虔に追憶しながら全ての愛国烈士に崇高な敬意を表します。

親愛なる代表者の皆さん!

今われわれは、この上なく光栄で聖なる使命を担い、きわめて重要で責任重大な時に意義深いこの大会場に集まりました。

白頭で切り開かれたチュチェの革命偉業を今一度新たな勝利へと飛躍させる偉大な転機、栄えある朝鮮労働党の75年の執権の歴史を80年へとしっかりとつなぐ決定的な時期に立っており、数百万の朝鮮労働党員と数千万の朝鮮人民の運命と未来、英知と知恵を代表してこの場に列しました。

厳しい挑戦と不安定が続くこの世界で、わが朝鮮を最も強大で裕福な道に導き、わが人民に幸福をたぐり寄せる早道を指し示すべき重任がわれわれに負わされています。

今、この5年間の革命活動を総括し、新しい道を切り開くための闘争路線と戦略戦術の方針を確定する本大会に対する全党の党員と全国の人民の関心と期待、熱望は非常に大きくて熱いものです。

常に党と運命を共にし、党を絶対的に信頼して従い、惜しめない献身と努力をもって第8回党大会を守った人民の大きな信頼と期待に必ず応えるために、われわれは大会の活動

で最大の責任感と熱情を發揮すべきでしょう。

本大会には、第 7 期党中央指導機関のメンバー 250 名と全党の各級組織から選出された代表者 4750 名が参加しました。

代表者の構成を見ると、党および政治活動家の代表 1959 名、国家行政・経済部門の活動家の代表 801 名、軍人の代表 408 名、勤労者団体の活動家の代表 44 名であり、科学、教育、保健医療、文学・芸術、出版・報道部門の活動家の代表 333 名、現場で働く中核党員の代表 1455 名です。

代表者のうち女性は 501 名で 10 パーセントです。

大会にはまた、オブザーバーとして 2000 名が参加しました。

朝鮮労働党の聖なる歴史において 8 回目となる今回の大会の全ての参加者を代表して、本大会が偉大な金日成同志と金正日同志の革命思想と偉業に徹底的に忠実であることを厳粛に誓いつつ、本大会がわが党の強化、発展と社会主義偉業の遂行において、国力の強化と人民の生活向上のための闘争において画期的な飛躍をもたらす踏み台、歴史的な里程碑になるものと確信しつつ、全ての代表者の真摯で、責任的かつ積極的な参加を望みつつ、朝鮮労働党第 8 回大会の開会を宣言します。

## 金正恩委員長の朝鮮労働党第 7 期中央委員会活動報告 (要旨)

2021 年 1 月 5 日~7 日

党中央委員会は、党総会をはじめとする主要な党会議を定期的に行い第 7 回党大会の決定を貫徹するための時宜にかなった対策と措置を取り、その実行へと全党、全国、全人民を積極的に呼び起こして大きな成果を収めた。

厳しい内外形勢の中で経済活動をはじめとする各分野の活動では、深刻な欠陥が現れたが、これは新しい発展段階、社会主義偉業の前進過程に現れた偏向であり、われわれの知恵と力でいくらかでも正して解決することのできる問題である。

### 1. 総括期間(5 年間)の成果

第 7 回党大会以降の 5 年間、朝鮮労働党は際会する全ての障害を大きな勝利に転換させるための不屈の攻撃的闘いを策定・展開し、この過程に獲得した勝利は新しい発展の時代、わが国家第一主義時代を開いたと特徴づけられる。

わが国家第一主義時代は、朝鮮労働党が歴史のあらゆる挑戦に敢然と立ち向い人民のために一意専心し、自らの力を頑強に増大させた結果、国家の尊厳と地位を高めるための決死の闘いの結果なされた自存と繁栄の新時代である。

#### 人民大衆第一主義政治を具現する過程で収めた成果

第 7 回党大会の決定を貫徹するためのこれまでの 5 年間の闘いで収められた最も輝かしい成果は、朝鮮革命の第一の原動力である政治的・思想的力が非常に拡大・強化されたことである。

党中央委員会は総括期間、人民大衆第一主義政治を党の存亡と社会主義の成敗を左右する根本問題、基本政治方式として前面に押し立て強力に一貫して実施することで、党と人

民の一心団結をいっそう磐石に固める上で、社会主義偉業の主体を強化しその役割を強める上で、はっきりとした成果を収めた。

「全てを人民のために、全てを人民大衆に依拠して!」、これは総括期間、党中央委員会が一寸の狂いも、些かの譲歩もなく堅持した指導思想の中核であった。

党中央委員会は、人民大衆第一主義を党と国家活動に徹底的に貫ぬくための活動を強く推し進める一方、その実現の障害となるあらゆる反人民的要素を除去するための闘いを絶え間なく行った。

党中央委員会は、人民大衆第一主義を国家の強固な政治風土、党風、国風として固着させるための用意周到な政治攻勢を展開した。

政治・思想陣地を強化するための党中央委員会の活動において特別な意義を持つのは、チュチェの革命偉業の継承期、発展期の要求に即して革命伝統教育をより強く行ったことである。

白頭の革命伝統でしっかり武装し、その偉大な伝統に基づいた不屈の攻撃精神、パルチザン精神をもって難局を打開し、開拓路を切り開く全党的、全社会的な気風を確立したこと、こうして朝鮮革命家の貴い闘争精神と気質が確固と継承するようにしたことは総括期間に収めた重要な成果の一つである。

党中央委員会は、情勢の要求と党の意図、革命課題を党員と人民に詳しく知らせ、力強い闘いへと決起させる政治活動を適時に力動的に行った。

革命発展の原動力を人民大衆の心の中に見出し、大衆の心に火を灯す人民大衆第一主義政治の威力は直面する難局と情勢の変化に対応して人民の精神力と創造力を最大に発揮させることに集中的に表れた。

党と国家の全ての活動が人民に対する献身奉仕で徹底的に貫かれた。

党は路線と政策を樹立し、それを施行するうえで人民の切実な生活上の要求と意思を尊重し、全ての生産と建設を人民の便宜を図ることを第一に、人民の反映と評価を基準に行う原則を一貫して固守し、全ての党組織と国家機関が人民のために献身する気風を強く発揮させることに特別な力を傾けた。

党中央委員会が人民軍を軍事的脅威だけでなく、突発的な非軍事的脅威からも祖国と人民を鉄壁に守る国家防衛の主体、真の人民の軍隊としての使命と本分を全うさせたことは、人民大衆第一主義政治の重要な構成部分になった。

党中央委員会は、全党の党組織が生活上の曲折や困難を経ている人々を真心こめて助け真実に導き、わが社会を一つの大家族に団結させるうえで貴重な成果を収めた。

信頼と献身、報いと信義に満ちている朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治によって、朝鮮革命の政治・思想陣地が強固になり、いかなる障害と挑戦も切り抜けられる不可抗力の力が蓄積され、人民大衆中心の朝鮮式社会主義の優越性と生命力が浮き彫りになった。

情勢がどんなに厳しく難関が重なっても、また内在する欠点があるとしても、人民大衆第一主義政治をしっかりと具現すれば、不利な全ての主・客観的要因を十分に克服し、社会主義建設において提起される膨大な課題を容易に解決することができるということが総括期間にあらためて実証された貴重な哲理である。

### 朝鮮労働党と人民が自らの力を増大させるための闘争で収めた成果

第7回党大会の決定を貫徹するための党と人民の闘争は、自力更生を自存と自強の生命線、強力な発展の原動力としてとらえ、度重なる難関を乗り越えて社会主義建設の新しい活路を切り開くための積極的な攻撃戦であった。

第7回党大会が強調した自力更生の精神とその実現のための闘争方針は党の各総会でさらに深く具体化され実践に具現され、この過程で党の自力更生戦略は、敵の卑劣な制裁

策動を自強力増大、内的原動力強化の絶好のチャンスに反転させる攻撃的な戦略に、社会主義建設において恒久的に堅持すべき政治路線に深化・発展した。

自強力を増大させて社会主義建設を促進するための全人民的な闘いの中で、自力更生はチュチェ朝鮮の国風、朝鮮革命の唯一無二の闘争精神としてより強固になった。

経済建設分野で目指した戦略目標に到達できなかったにしても、今後、自力で経済を持続的に発展させていくことのできる大事な元手が築かれ、ここでの有意義な成果は、朝鮮式社会主義の存立の物質的基礎であり生命線である自立的民族経済、社会主義経済の枠組みを堅持しその命脈を守り抜いたことである。

党中央委員会は、経済活動に対する国家の統一的指導と戦略的管理を強化するための革命的措置を取り、経済分野で社会主義の原則をしっかりと守ることで、経済全般を再整備・強化し、発展させていくことのできる新しい潜在力を蓄積した。

総括期間、党は建設事業を、全般的国力を向上させ、人民を社会主義文明へ先導する重要な政治的活動として重視し、力強く推し進めて国の姿を一新させた。

農業部門では、度重なる酷い干ばつと大水や全てが不足する中でも、科学農業、多収穫の熱風を巻き起こし、穀物生産量を前例なく高める成果を収めた。

自立経済の二本の柱である金属工業と化学工業部門でチュチェ化、自立化実現の突破口が開かれ、電力、石炭、機械、鉄道運輸部門をもり立て、情報通信分野を発展させるための技術的準備と土台の構築においても一連の成果が収められた。

軽工業部門で主要工場、企業を改修して一般消費財の質と生産量をはるかに高められる潜在力を確保し、水産部門で生産を系統的に成長させることのできる土台を築いた。

国の山林資源を増やすための全国的、全大衆的な闘いの中で、100余万ヘクタールの山林が新たに造成され、治山治水と国土環境保護、都市経営活動に必要な力量と手段がもたらされた。

科学技術分野で国家的重点対象の課題を含む価値ある科学技術成果と発明がなされ、教育部門で教育内容と方法を革新し、教育の条件と環境を改善するための活動が力強く推し進められた。

保健医療部門の物質的・技術的土台がいっそう強固になり、世界的な大流行伝染病を防ぐための先制的かつ強力な非常防疫活動を通じて、衛生防疫部門に整然とした活動体系と土台が確立した。

スポーツを科学化し、スポーツ熱風を巻き起こすための積極的な活動が展開され、国家的な災害防止と危機管理システムを確立するための活動が進捗し、自然災害をはじめとする各種の災難に機動的に対処できるようになった。

自力を絶え間なく増大させるためのこれまでの5年間の闘いで収めた成果は、長期間の極めて悪質な制裁・封鎖とひどい災害の中で、自力で成し遂げられたことによって、平穏な時期の経済建設の数字と比べることのできない数十倍強力な奮発力、発展力の結実であり、難関を乗り越えて蓄積した自強の強い力のもとで、社会主義強国を志向して進む党と人民の荘厳な進軍は、より膨大な幅と深みをもってより勢いよく加速することになるだろう。

### 国家の核戦争抑止力と自衛的国防力の強化で収めた成果

朝鮮労働党と人民にとって国家核戦力建設の大業を完成するのは、われわれの理想である強力な社会主義国家建設の行程で必ず、優先的に占領すべき戦略的かつ支配的高地であった。

世界で最初の核使用国であり、戦争の首謀者である米国によって国土と民族が分裂し、この侵略勢力と世紀をまたいで長期的に直接対峙している朝鮮革命の特殊性とわが国家の地政学的特性は、人民の安泰と革命の運命、国家の存立と自主的発展のために、すでに

始めた核戦力の建設を中断することなく強行に推進することを求めた。

党中央は、核戦力建設の大業完成のための強行突破戦を企画し、全党と全人民を並進路線の貫徹に奮い立たせるとともに、国防科学者と核科学者を真の革命家、愛国者、決死隊に準備させるための一大思想戦を手配し展開した。

祖国と民族の運命をかけて党中央が行った精力的かつ卓越した指導活動は、朝鮮労働党式戦略兵器の誕生をもたらす奇跡の歴史を開いた。

党中央の直接的指導の下で「火星砲」系列の中距離・大陸間弾道ロケットと「北極星」系列の水中および地上発射弾道ロケットが特有な作戦的使命に即して朝鮮式に生まれたのは、核保有国としてのわが国家の地位に対するより明確なイメージを与え、完全無欠の核の盾を構築し、いかなる脅威にも対応できる強力で頼もしい戦略的抑止力を打ち固められるようにした。

すでに蓄積された核技術が、より高度化され核兵器を小型軽量化、規格化、戦術兵器化し、超大型水爆の開発を完成させ、2017年11月29日、党中央委員会は大陸間弾道ロケット「火星砲 15」型の試射の大成功によって、国家核戦力完成の歴史的大業、ロケット強国偉業の実現を全世界に誇り高く宣布した。

既存の常識では20年、30年かかっても成し遂げられない国家核戦力建設大業の完成を、経済建設と核戦力建設の並進路線が提示された時から4年目に、そして第7回党大会が行われた時から1年目に立派に実現したのは歴史にまたとない奇跡であり、第7期中央委員会が党と革命、祖国と人民に対し、次世代に対し、打ち立てた最も意義ある民族史的功績となる。

党中央は、歴史的な2017年11月の大事変以降も、核戦力高度化のための闘いを中断することなく粘り強く導き大きくて新しい勝利を収めた。

党中央は、より威力ある核弾頭と弾頭制御能力が向上した全地球圏打撃ロケット開発を決断し、この歴史的課題を国防科学者の愛国忠誠心に依拠して立派に貫徹した。

朝鮮労働党創立75周年祝賀閲兵式場で11軸自走発射台車に装着されて公開された新型の巨大なロケットは、われわれの核戦力が到達した最高の近代性と打撃能力をあまねく誇示した。

国家核戦力建設大業の完成に続く発展は、党中央委員会の組織指導力の勝利であると同時に、不屈の自主的信念と剛勇な精神をもって不死身の闘いを展開してきた国防科学者と全ての朝鮮人民の偉大な勝利となる。

総括期間、敵のヒステリックな軍事力増強策動に対処し、国防科学部門で新しい先端兵器システムを引き続き開発・完成し、国家の軍事技術的強勢を不可逆的なものにして戦争抑止力、戦争遂行能力を最上の域にまで引き上げた。

国防科学部門が、世界兵器分野で概念もなかった超強力多連発攻撃兵器である超大型ロケット砲を開発・完成し、通常弾頭の威力が世界を圧倒する新型戦術ロケットと中・長距離巡航ミサイルをはじめとする先端核戦術兵器をも次々と開発することで、頼もしい軍事技術的強勢を堅持した。

国防科学者と軍需労働者階級は、世界的発展推移に追いつく朝鮮式の主力戦車の開発方向を正しく定め生産工程を一新し、自己の新しい発展軌道に入り始め、対空ロケット総合体、自走平曲射砲、対装甲兵器も世界的水準で開発する成果を収めた。

国防科学研究部門で多弾頭個別誘導技術をいっそう完成するための研究を最終段階で行っており、新型弾道ロケットに搭載する極超音速滑空飛行戦闘部をはじめとする各種の戦闘的使命の弾頭開発研究を終え、試験製作に入るための準備を行っている。

また、中型潜水艦武装近代化目標の基準を正確に定め、模範改造して海軍の現存の水中作戦能力を著しく向上させうる確固たる展望を開き、新しい原子力潜水艦の設計、研究が

終わり最終審査段階にあり、各種電子兵器、無人打撃装備と偵察探知手段、軍事偵察衛星の設計を完成し、ほかにもわが軍隊を世界最強の軍事力を保有した強兵に跳躍させる上で大きな意味を持つ国防研究成果を収めた。

国防科学部門、軍需工業部門で成し遂げられた大胆な飛躍は、朝鮮の国家防衛力を世界の前列に堂々と立たせると同時に、全般的朝鮮革命を発展させる党中央の戦略的構想の実現において大きな意義を持つ。

党の指導の下で人民軍は、祖国防衛と社会主義建設の両戦線で偉勲を立て、奇跡を生み出し、自らの革命的本分を忠実に遂行し、最も先鋭かつ峻厳であったこの 5 年間、鉄壁の警戒勤務と戦闘動員態勢で、祖国の領土、領空、領海を頼もしく守り、敵の挑発・威嚇を断固制圧し、社会主義建設の平和的環境を守った。

党中央委員会は、核戦力建設大業を立派に完成し、国家防衛力の強化において大きな転変をもたらすことで朝鮮を名実ともに世界的な核強国、軍事強国に浮上させ、諸大国がわが国家と民族の利益をほしいままにしようと駆け引きしていた時代に永遠なる終止符を打った。

人民と次世代が尊厳ある強大な国で、永遠に戦争の惨禍を知らずに繁栄と幸福を思う存分創造できるようにしたことこそ、第 7 期中央委員会が党大会の決定貫徹において収めた最も意義深く誇るに足る大勝利である。

### 飛躍的に高まった共和国の対外的地位

党中央委員会は、並進路線の偉大な勝利を収めて以降、積極的な対外活動を展開し、国家の尊厳と地位を高い境地に押し上げた。

米国のあがきのような攻勢とそれに追従する勢力の必死の圧迫・封鎖策動によって、総括期間、共和国を巡る対外環境は建国以来、類のないほど厳しかった。

最悪の形勢の中で、党中央委員会は自主の軸をより強く堅持しながら、国の最高の利益と尊厳を損なおうとするいかなる企みも断固排撃し、革命的原則をいささかも譲歩しなかった。これは共和国の自主権を何人も侵害することはできず、自主権尊重を抜きにしたわれわれとの関係改善というものは絶対にあり得ないということを全世界に刻印させた。

党中央委員会は、大胆な路線転換と攻撃的戦略で国際社会が共感する平和の気流を醸成して対話の雰囲気をもたらし、共和国の国際的地位を高めるための靈妙な対外活動を策定・指導した。

朝鮮労働党は、長い歴史的根源を持つ特殊な朝中関係の発展に優先的な力を入れることで、中国との親善関係を新世紀の要求に即して発展させ、社会主義を核とする朝中親善関係の新たなページを開いた。

共同の偉業のための闘いで切り離しがたい一つの運命で結びついた朝中両党、両国人民の兄弟の友情と団結を引き続き継いでいくべき時代の要求から、党中央は 5 回の朝中首脳会談を通じて戦略的意思疎通と相互理解を深め、両党の同志的信頼を厚くすることで朝中関係を新たに強化・発展させていく確固たる保証をもたらした。

また、伝統的な朝ロ関係の新しい発展を重視し、両国の友好・協力関係を発展させるための対外活動を行い、ロシアとの親善関係を拡大発展させうる礎石を築いた。

キューバとの平壤での首脳会談とベトナムとのハノイ首脳会談を通じて、社会主義偉業の実現を目指す共同闘争で結ばれ検証された双務関係を、特殊な同志的關係、戦略的關係に昇華発展させることで社会主義諸国との団結と連帯を非常に強化した。

党中央委員会による積極的な対外活動は、国際舞台で社会主義偉業を強力に促進し、自主と正義、平和守護の新しい政治の流れを主導していく党と国家の地位と威信を大きく誇示した。

党中央委員会は総括期間、朝米の力学関係を劇的に変化させ、国家の尊厳と地位を立派に誇示した。

敵対的な朝米関係史上、初めて開かれた両国最高首脳の間接会談で党中央は、強い自主的軸をもって、新しい朝米関係の樹立を確約する共同宣言を成立させた。

超大国を相手にして、自己の自主的利益と平和と正義を守る共和国の戦略的地位を全世界に誇示した複数回の朝米首脳会談は、世界政治史上特大の出来事となった。

総括期間、党中央委員会は人民の屈することを知らない透徹した自主精神と共和国が備蓄した偉大な力に依拠し、わが共和国の戦略的地位と威信を大きく押し上げた。これは朝鮮労働党の尊厳と権威、偉大なわが人民の地位を象徴している。

領土や人口もそれほど大きくなく、帝国主義反動勢力の四面包囲の中にある共和国の対外的地位に飛躍的な上昇変化が起きるようになったのは、わが党と人民が長期間の血みどろの闘いでもたらした貴い結実であり、ひたすら自らの党の路線と政策を絶対的な真理として信じ従い、困難で厳しいほど党の周りにより固く結集した人民の偉大な団結が生んだ大きな歴史的奇跡である。

## 2. 社会主義建設の画期的前進のために

### 国家経済発展 5 カ年戦略の遂行と新たな展望計画に対する厳正かつ詳細な分析

国家経済発展 5 カ年戦略の遂行に影響を及ぼした主観的・客観的要因の中で、まず、客観的要因としてアメリカと敵対勢力が強行した最悪で野蛮な制裁・封鎖策動の結果をあげられる。その他、毎年被った過酷な自然災害と昨年発生した世界的な保健危機の長期化も、経済活動の深刻な障害になった。

そのため、国家経済発展 5 カ年戦略において主要経済部門をもり立てるために予定していた国家の投資と保障活動がまともに実行されなかった。

客観的条件にかこつけば何事もできず、主体の作用と役割は不要になり、不利な外的要因がなくなる限り、革命闘争と建設事業を推し進めることができないという結論に達することになる。これが総括期間、国家経済発展 5 カ年戦略の遂行が未達成となった原因に関する党中央委員会的な分析である。

国家経済発展 5 カ年戦略が科学的な見積もりと根拠に基づいて明確に作成されず、科学技術が実際に国の経済活動を牽引する役割を果たせなかったし、不合理な経済活動システムと秩序を整備、補強するための活動がまともに推進されなかった。

今まで蔓延してきた誤った思想観点と無責任な活動態度、無能力をそのままにしては、また、今のような旧態依然とした活動方式をもってしては、いつになっても国の経済をもり立てられないというのが総体的な教訓である。

党と国家の活動全般を、新しい革新と大胆な創造、絶え間ない前進を志向し奨励する方向へ確固と転換し、われわれの前進を制約する古い活動システムと不合理かつ非効率的な活動方式、障害物を断固と取り除くための措置を講じるべきだ。こうすることによってのみ、今後達成すべき国家経済の展望目標をはじめとする社会主義建設のためのわれわれの闘いを人民に実際の福利をもたらす偉大な革命活動にすることができる。

### 今後 5 年間の経済分野における闘争戦略

現段階におけるわが党の経済戦略は、整備戦略、補強戦略であり、経済活動システムと部門間の有機的連携を復旧・整備し、自立的土台を固めるための活動を推し進め、われわれの経済をいかなる外部的影響にも左右されることなく、円滑に運営される正常の軌道に

乗せることを目的としている。

国家経済発展 5 年計画の総体的方向は、経済発展のキーポイントに力を集中して人民経済の全般を活性化し、人民の生活を向上させる強固な土台を築くことである。

新たな 5 年計画の中心的課題は、金属工業と化学工業をキーポイントとしてとらえ投資を集中し、人民経済の各部門で生産を正常化し、農業部門の物質的・技術的土台を強固にし、軽工業部門に原料、資材を円滑に保障して一般消費財の生産を増やすことである。

新たな 5 年計画は、主に内閣が国の経済司令部として経済活動に対する内閣責任制、内閣中心制を円滑に果たし、国家経済の主要命脈と全一性を強化するための活動を力強く推し進め、经济管理を画期的に改善し、科学技術の力で生産正常化と改造・近代化、原料・資材の国産化を積極的に推進し、対外経済活動を自立経済の土台と潜在力を補完・補強する方向へ向わせることを前提としている。

新たな 5 年計画は、現実的可能性を考慮して国家経済の自立的構造を完備し、輸入依存度を下げ、人民の生活を安定させるための要求を反映した。

新たな国家経済発展 5 年計画の核心、テーマは、依然として自力更生、自給自足である。

朝鮮革命発展の要求、社会主義建設の緊迫した要求から新たな展望計画期間の自力更生は、国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生に発展させるべきである。

## 主要経済部門別の現況と整備・発展に関する諸問題

### 基幹工業部門の実態と整備・発展方向

金属工業部門で、チュチェ鉄の生産システムを技術的に完成し、能力を拡張し、鉄鋼材の生産を画期的に増やすべきである。

新たな 5 年計画に反映された鉄鋼材生産目標を達成するために、主要製鉄・製鋼所で現存の生産工程を先進技術で改造し、省エネ型の新しい製鉄炉を建設して生産能力を拡張し、鉄鉱石の生産を活性化し、北部地区の褐炭を銑鉄生産に利用するための科学技術上の問題を解決しなければならない。

自立経済の建設と人民の生活向上の命脈とも言える国の中核工業である化学工業を発展させるべきである。

新たな 5 年計画期間に化学工業部門の中心課題は、自己の技術陣を強化する活動を先行させるとともに、国の化学工業の構造を改善するための活動を進め、経済建設と人民の生活向上に必要な化学製品の生産を一段と増やすことである。

化学工業部門では、主体的な化学工業を創設するための闘いの全過程が先端技術の命脈をとらえるための過程になるようにし、国の化学工業の構造をわれわれの原料に頼る主体的工業に変える活動を力強く推し進めなければならない。

自立経済の基本原動力である電力生産を増やすことは、経済建設を推進し、人民の生活を向上させるための先決条件である。

新たな 5 年計画期間の電力工業部門の基本課題は、当面の電力需要を満たすための増産運動を展開する一方、生産土台を全般的に整備、補強し、将来を見通して拡大して国家経済の安定的発展と人民の物質・文化生活を確実に保証することである。

展望的な需要、今後の主観的・客観的変化にも対処できる中・長期的な戦略を持って潮力発電所の建設に国家的な力を集中し、核動力工業の創設に本格的に進入するための計画を推進すべきである。

自立経済の発展の前哨基地である石炭工業を発展させることが重要である。

国家的に石炭工業部門に設備と資材、労働力と資金を集中的に保障する活動を大胆に展

開し強力に押し進める問題、石炭工業部門で探査と掘進を先行させて採炭場をより多く確保する問題、有煙炭工業の発展に力を入れる問題、炭坑夫の労働条件と生活条件を改善するための活動を石炭増産の先決課題としてとらえる問題、石炭を効果的に利用するための対策を講じるべきである。

機械工業は、全般的経済部門を主導し牽引すべき重要な工業部門であり、新たな 5 年計画期間の基本課題は、国の機械工業を基礎が強固な工業にし、開発創造型の工業へ方向転換することである。

機械工業部門では工作機械、運輸機械、建設機械、電気機械、採取機械、流体機械をはじめとする近代かつ能率的な機械製品を積極的に開発、生産しなければならない。

国家経済の正常な発展のために採掘工業を重視し、もり立てなければならない。

採取工業部門の基本課題は、新たな 5 年計画期間に生産的土台を補強、拡大し、非鉄金属と非金属鉱物に対する人民経済の需要を基本的に満たすことである。

そのために、地質探査部門の力量を強化し、国の地下資源を統一かつ効果的に開発、利用するための活動を現実性があるように押し進め、採掘工業部門の鉱山、製錬所、工場の生産能力を拡張しなければならない。

### その他の主要経済部門の整備・発展方向

林業部門で原木の生産と山林造成のバランスを取りながら自らの物質的・技術的土台を強化し、人民経済の原木の需要を円滑に満たさなければならない。

交通運輸部門における新たな 5 年計画期間の基本目標は、鉄道の近代化を積極的に押し進め、輸送活動を革命的に改善して鉄道輸送の需要を円滑に満たすことである。

鉄道運輸部門では鉄道の安全性を保障し、重量化し、標準鉄道区間を増やし、ひいては全ての鉄道を改造するための活動を計画的に、頑強に押し進めなければならない。

これとともに、平壤地下鉄の技術改造と平壤地下鉄駅の近代化工事を推進し、地下鉄の管理・運営水準を一段と高めなければならない。

陸・海運部門で造船技術の世界的な発展趨勢に合う大型貨物船を引き続き建造し、自動車統合運輸管理システムを構築し、輸送指揮の情報化を実現し、輸送のネックを解消しなければならない。

新型の地下鉄電車とトロリーバス、路面電車、旅客バスをはじめ大衆交通手段をより多く生産して、人民の便宜を図らなければならない。

総括期間、飛躍的な発展と成果が収めながら一連の偏向もあった建設部門における新たな 5 年計画期間の基本課題は、住宅建設をはじめとする基本建設を大々的に行って人民により文化的な生活条件を提供し、国の面貌を一新することである。

建設部門では、国の経済土台を強化するための産業建設と人民の物質的・文化的需要を満たすための建設の両部門を同時に力強く押し進めなければならない。

建設部門では、平壤市の 5 万世帯の住宅建設に力を集中して、今年から毎年 1 万世帯の住宅を建設するための年次別計画を立て、その実行のための建設の企画と指導を綿密に行って、首都市民の住宅問題を基本的に解決しなければならない。

屈指の非鉄金属鉱物生産基地であり、労働者階級の大集団が住んでいる検徳地区に 2 万 5000 世帯の住宅を建設して、世界にまたとない鉱山都市をうち建てなければならない。

専門建設単位を強力に整え、建設機械工場に必要な建設装備と機具・工具を積極的に開発、生産しなければならない。

建設が前例のないスピードで進められている現実の要求に即して、建材工業を一層発展させなければならない。

新たな 5 年計画期間に建材工業部門が遂行すべき基本課題は、800 万トンのセメント

生産目標を達成し、仕上げ建材の自給自足を実現することである。

現存のセメント工場を近代的に改造するとともに、原料条件、動力条件、輸送条件が有利な地区に能力が大きく先進技術が導入されたセメント工場を新しく建設して、国のセメント生産能力を一層拡大しなければならない。

建築物の面貌を決める仕上げ建材を国内生産で充足させるための闘いを繰り広げるとともに、国内の原料による塗料や外装塗料の生産基地をより充実させてその質を高め、屋根葺材の生産技術も発展させなければならない。

世界的な建築発展趨勢に合わせて零炭素建築、零エネルギー建築を多く建設できるように必要な建材生産の準備を、先を見通して着実に進め、各道で地元の原料に依拠する実利ある様々な建材の生産基地を整え多様な建材を量産しなければならない。

逡巡部門が時代の要請に積極的に応じて、絶え間ない飛躍と革新を起こさねばならない。

逡巡部門では、通信インフラの技術更新を推進し、移動通信技術を発展させて次世代通信へ速く移行しなければならない。

有線放送とテレビ放送システムを整備し、その技術水準をより高い段階に引き上げ、都市から山奥に至るまでどこでも人民がより立派な文化的生活を享受できるように十分な条件を提供しなければならない。

### 商業、国土管理と生態環境保護、都市経営、対外経済、観光部門の発展方向

国営商業を発展させ、給養・便益サービスの社会主義的性格を生かすことを現在の極めて喫緊の問題であり、われわれの商業を人民の生活を保障し、物質的福利を増進させる名実相伴う人民サービス活動に還元すべきである。

現在、われわれの商業が必ず解決すべき重要な課題は、商業サービス活動の全般にわたって国家の主導的役割、調整統制力を回復し、人民に奉仕する社会主義商業の本態を生かすことである。

商業サービス単位では、正しい経営戦略を持ち、商業サービス活動において人民性、文化性、現代性、多様性を具現して、われわれの方式の新しい社会主義サービス文化を創造しなければならない。

国土管理と生態環境保護活動を、人民の生命と健康を守り、祖国の山河を一層美しくするための重大事、国の将来にかかわる戦略的な活動として推進すべきである。

新たな5カ年計画の期間に国土部門に提示された課題は、国土建設と生態環境保護において決定的な前進をもたらし、全国を社会主義の理想郷、労働党時代の錦繡江山に一層立派に変貌させる活動を粘り強く推し進めることである。

その他、山林をはじめ生態環境の全般的な実態を調査・掌握し、季節別、年度別の変化状態に対する分析結果に従って正確かつ機敏に対応する問題、国土環境保護に関連する法規範と細則を正しく制定して厳格に施行する問題、治山治水事業に力を入れて自然災害を未然に防ぐ問題、道路の建設と管理に引き続き大きな力を入れる問題、国家的に東・西海岸の建設を大がかりに推し進めて人民の生命安全と国土を保護し、国の海岸沿線を海洋国にふさわしく一新する問題を解決しなければならない。

人民の生活と直結する都市経営部門では、住宅補修対策を強く立て、飲料水の生産能力を拡張してその質を改善し、新しい汚水浄化場を増設して環境汚染をなくすべきである。

園林設計水準を一段と高め、公園と遊園地を美しく整備し、良種の樹木と草花、地被植物をバランスよく配置して都市の姿を一新しなければならない。

対外経済部門では科学的な戦略を立て、対外経済活動を目的意識的に発展させなければならない。

観光部門の活性化は、人民により文化的な生活を享受させ日ごとに変貌するわが国の姿

を世界に広く宣伝するための重要な事業である。観光の対象をより立派に整え、その紹介・宣伝方法を改善し、観光コースと案内も多様に行うべきである。

金剛山地区を朝鮮式の近代的な文化観光地に変えなければならない。高城港の埠頭にある海金剛ホテルをはじめとする施設を全部取り払い、金剛山の美しい自然景観にマッチしながらも朝鮮人民の情緒と美感に合う典型的な朝鮮式建築形式の建物を建設しなければならない。

金剛山観光地区総開発計画に従って、高城港海岸観光地区と崑盧峰登山観光地区、海金剛海岸公園地区とスポーツ文化地区を特色があるように整備する事業を新たな 5 年計画の期間に年次別、段階別に行わなければならない。

### 経済管理を改善するための課題

われわれの国家経済は自立経済、計画経済であり、人民に奉仕する経済である。

国家経済の自立性と計画性、人民性を強化するには、国家の経済組織者としての機能を高め、経済活動の結果が人民の福祉増進に振り向けられるようにする原則にしたがって生産物に対する統一的な管理を実現すべきである。

社会主義経済管理改善の根本要求、根本方向は、社会の主人である人民大衆を中心に据えて人民の要求と利益を優先視することである。また、コストの低下と質の向上を経済管理改善の基本としてとらえなければならない。

国家経済指導機関は、社会主義経済管理改善の根本要求、根本方向に立脚して経済を整備し、補強するための活動を実質的に行うべきである。

経済活動に対する国家の統一的指導を実現するための綱紀を確立し、国家的な一元化統計システムを強化し、国家経済の命脈をもり立てるための活動を正しく展開し、工場、企業の経営活動条件を改善すべきである。

全人民的経済範囲で経済的効率を高められるよう生産力を合理的に再配置し、経済部門の弱点を探し出して、経済の均衡的発展に切実な部門を補強すべきである。

計画化活動を改善し、財政と金融、価格など経済的テコを正しく利用して経済を合理的に管理しなければならない。

### 食衣住問題解決の突破口を開き、変化と革新をもたらすための課題

#### 食の問題を決定的に解決するための積極的対策

農業部門に提起された 5 年計画の中心目標は、党がすでに提示した穀物生産目標を無条件に達成し、農業の持続的発展のための物質的・技術的土台を築くことである。

農業生産を増やすためには、種子革命、科学的農業、低収穫地での増産、新しい土地開墾と干拓地の開墾に力を入れて農産と畜産、果樹栽培を発展させ、農業の水利化、機械化を重要な戦略的課題としてとらえていかなければならない。

どんなに不利な気象気候条件の下でも、農業生産を安全に成長させるための科学技術的対策と物質的・技術的土台を整え、農業勤労者の生産的熱意を高め、農村に対する国家の支援を強化しなければならない。

農業部門に提示された重要目標は、食糧の自給自足を実現し社会主義建設を促進するため、どんな代価を払ってでも達成すべき国家の重大事である。

#### 軽工業と水産部門の発展方向

軽工業部門で原材料の国産化とリサイクル化を、生命線、主たる方向としてとらえ、その近代化に拍車をかけ、弱い部分と工程は補強し、欠けている部分と工程は補いながら絶えず肉付けすべきである。また、先質後量の原則に立って製品の質を高め、新製品の開発に力を入れるべきである。

水産部門は人民の食生活と直結した 3 大部門の一つである。

水産部門では、漁船と漁具を近代化し、漁獲を科学化し、水産事業所と船舶修理基地をしっかりと整えなければならない。

国の水産資源を保護、増殖する活動を計画的かつ実質的に行い、養魚と養殖を大々的に行って水産物の生産を系統的に増やさなければならない。

### 市・郡の自立的かつ多角的な発展のための政策的課題

市・郡を拠点にして革命陣地を固め、農業と地方経済の発展、人民の生活向上を推し進めるのは、わが党が社会主義建設において一貫して堅持している戦略の方針である。

市・郡は、わが党の政策の末端執行単位であり、農業と地方経済を指導する地域的拠点、国の全般的発展を支える強力な砦である。

市・郡強化の総体的目標は、全ての市・郡を文明・富強の社会主義国家の戦略的拠点、固有な特色をもつ発達した地域につくることである。

市・郡では、それぞれの地域的特性に合致する発展戦略と展望目標を現実的に立て、目的意識的に、計画的に、年次別に、頑強に実行すべきである。

「新たな勝利に向かって！」というスローガンを高く掲げ、社会主義農村建設に力を入れ、農村特有の文化発展、朝鮮式の新しい発展を遂げなければならない。

農村建設の展望目標は、農村で3大革命を推し進め、社会主義農村テーゼを貫徹して労働者と農民の差、工業と農業の差、都市と農村の差をなくすことであり、当面の課題は農業勤労者を革命化、労働者階級化するための活動を先行させ、農村に対する国家の支援を強化し、農村を地域的特性が生かされるようにバランスよく建設することである。

農村の中核陣地を強化することに党的・国家的注目を払うべきである。

地方経済を当該地域の特性に即して、当該地域の原料と資材を利用して発展させることは一貫した政策的要求である。

これとともに、市・郡所在地の姿を一新する活動を推し進め、都市経営活動と治山治水、環境保護の改善に大きな力を入れるべきである。

市・郡党委員会、人民委員会が、当該地域の発展を導いていく強力な牽引機となり、市・郡の主婦、当該地域内の人民の生活に責任を持つ戸主になるべきである。

### 国家防衛力を持続的に強化

朝鮮半島と世界の平和と安全を保障しようとする一念から、地域の緊張激化を防ぐためにわが党と共和国政府は善意の努力と最大の忍耐力を発揮したが、アメリカの対朝鮮敵視政策は弱まったのではなく、むしろより強まっている。

わが国家を狙った敵の先端兵器が増えているのを目の当たりしながら、自分の力を絶えず培わず、平穩無事に過ごすことより愚かで危険極まりないことはない。

現実には、国家防衛力を瞬時も停滞させることなく強化してこそ、アメリカの軍事的脅威を抑止し朝鮮半島に平和と繁栄をもたらすことができるということを示している。

強力な国家防衛力は、決して外交を排除するのではなく、外交を正しい方向へ進ませ、その成果を保証する威力ある手段になる。当面の情勢の中の現実には軍事力強化で満足というものはあり得ないことを今一度実証している。

地球上に帝国主義が存在し、わが国家に対する敵対勢力の侵略戦争の危険が続く限り、わが革命武力の歴史的使命は絶対に変わらず、われわれの国家防衛力は新たな発展の軌道に沿って絶えず強化されなければならない。

人民軍は、全軍の金日成・金正日主義化を軍建設の総体的任務としてとらえ、朝鮮労働党化した革命的な党軍、先端化した近代的な軍隊、わが国家と人民の頼もしい守護者に鍛え上げなければならない。

国防工業を飛躍的に強化、発展させるための中核的な構想と重要な戦略的課題は、核技術を一層高度化する一方、核兵器の小型・軽量化、戦術兵器化をさらに発展させ、現代戦

における作戦任務の目的と打撃対象に応じて様々な手段に適用できる戦術核兵器を開発し、超大型核弾頭の生産も持続的に進めることによって、核の脅威がやむなく伴われる朝鮮半島地域における各種の軍事的脅威を、主動性を維持しながら徹底的に抑止、統制、管理できるようにすることである。

これとともに、1万5000キロ射程圏内の任意の戦略的対象を正確に打撃・掃滅できるよう命中率をさらに向上させ、核先制および報復打撃能力を高度化することである。

また、近いうちに極超音速滑空飛行戦闘部を開発・導入する課題、水中および地上の固体エンジン大陸間弾道ロケットの開発を計画通りに推し進め、核長距離打撃能力を向上させる上で重要な意義を持つ原子力潜水艦と水中発射型核戦略兵器を保有することである。

そして、近いうちに軍事偵察衛星を運用して偵察情報収集能力を確保し、500キロ前方縦深まで精密偵察できる無人偵察機をはじめとする偵察手段を開発するための最重要研究活動を本格的に推し進める。

国防科学技術を高度に発展させ、先端兵器と戦闘技術機材をより多く研究・開発し、人民軍を在来式構造から先端化、精鋭化した軍隊に飛躍的に発展させることは、今日国防科学部門に提起される基本課題である。

武器装備の知能化、精密化、無人化、高性能化、軽量化の実現を軍需産業の中核的な目標に定め、研究・開発活動をそこに向かわせなければならない。

国家防衛力を打ち固める上で、決しておろそかにしてはならない重大な事業である全人民抗戦準備を完成させなければならない。

以上のような国家防衛力強化のための重要課題は、アメリカと敵対勢力の無分別な軍備増強によって国際的な力のバランスが破壊されている現状の下、この地で戦争の瀬戸際と緩和、対話と緊張の悪循環を永遠に解消し、敵対勢力の威嚇と恐喝という言葉自体が終息する時まで、国の軍事的力を持続的に強化していくという鉄の信念と意志の表明となる。

### 科学技術の発展と社会主義文化建設の課題

新たな国家経済発展 5 年計画の遂行で提起される緊要な科学技術上の問題を積極的に解決し、中核的かつ先進的な先端技術の開発を促進すべきである。

科学技術を発展させるための党的・国家的・行政的指導と管理システムを確立し、科学研究成果を互いに共有し、全人民の科学技術人材化を実現するための活動を粘り強く推し進めなければならない。

社会主義文化の新たな開花期を開いて、人民を新世紀の朝鮮式文明へ導こうとするのは、わが党の遠大な目標であり理想である。

われわれの未来を安心して委ねられる教育にすることが、教育の総体的目標であり、新世紀の教育革命を力強く促進してわが祖国を教育強国、人材強国にしなければならない。

そのためには、中等および高等教育部門で、現代教育の発展趨勢と教育学的要求に即して教育の内容と方法、授業管理制度を絶え間なく更新し、教育革命の担当者である教員の能力と水準を向上させるための活動を方法論をもって行うべきである。

また、国家的に教育部門に対する投資と支援を強化し、学校建設をはじめ教育の条件と環境を一新するための活動を力強く展開すべきである。

社会主義保健医療を最も優れた先進的な人民保健医療に発展させ、人民によりよい医療の恩恵を提供すべきである。

保健医療部門では、治療・予防機関と製薬および医療機器工場を改造する活動を着実に推し進め、保健医療従事者の陣容を固め、いかなる世界的な保健危機にも対処できる防疫基盤を強固に築かなければならない。

文学・芸術の各部門で一大革命を起こしてチュチェ文学・芸術の新しい開花期を開かな

ければならない。

文芸部門の創作指導活動家と作家、芸能人は、高い見識と進取的な活動気風を發揮し、主体性と民族性、現代性が具現された優れた作品を創作し、特色ある公演活動を活発に展開し、後進の育成を、正しいシステムと発展戦略、明確な発展目標を掲げて目的意識的に将来を見通して行わなければならない。

出版・報道部門では、社会主義建設の新たな激変期、高揚期の要求に即して、新たな新聞革命、報道革命、放送革命、出版革命の炎を強く燃え上がらせて、党大会が打ち出した思想と路線、政策の真髓を全人民に深く認識させ、党大会の決定貫徹へと総決起、総発動させるための報道戦、言論戦を力強く展開し、スポーツ部門では、尊厳あるわが国家の権威と地位にふさわしく果敢に奮発して、わが国のスポーツ先進国入りを果たすべきである。

社会主義文化建設の革新的方向は、総括期間の成果と経験、欠陥と教訓を前進と飛躍の足場に、社会主義文化の各分野で一大革命を起こし、新しい朝鮮式文明を創造しようとする雄大な構想の反映である。

一方、非社会主義・反社会主義的傾向を一掃し、全国に社会主義的生活様式を確立するための活動を全党的・全国的・全社会的な活動として展開し、人々の精神道徳生活領域に革命的な転換をもたらすことが重要である。

全人民が社会主義に対する信念、自分のものに対する愛着と信頼をもって朝鮮式の高尚かつ文化的な新しい生活を創造・発展させ、社会主義的生活様式に反する傾向との大衆的闘いを強力に展開しなければならない。

### **国家社会制度をより強固に築き発展させるための課題**

朝鮮式社会主義制度の本質的特性に即して国家の人民的性格を強化し、統一的・科学的・戦略的管理を実現し、社会主義法治国家建設の要求に即して全社会に革命的順法気風を確立し、司法・検察、社会安全、保衛機関が社会主義制度の頼もしい防衛者として体制防衛、政策防衛、人民防衛の聖なる使命と責任を果たすことが重要である。

党の紐帯であり、外郭団体である勤労者団体組織を強力な政治組織、社会主義建設の威力ある力量に強化すべきである。

勤労者団体組織が思想教育団体としての本分にふさわしく同盟の内部活動を基本としてとらえて、全同盟を党の革命思想でしっかり武装させ、特に青年同盟を党の交代者、後続部隊にしっかり準備させることが重要である。

## **3. 祖国の自主的統一と対外関係の発展のために**

### **当面の形勢と変化した時代の要請に即した対南問題の考察**

#### **北南関係に関するわが党の原則的な立場**

今わが民族は北南関係の深刻な膠着状態を收拾し平和と統一の道を進むか、それとも対決の悪循環と戦争の危険の中で引き続き分裂の苦痛をなめるかという重大な岐路に立たされている。

北南関係の現実態は、板門店宣言の発表以前の状態に逆戻りしたと言っても過言ではなく、統一という夢ははるかに遠のいた。

南朝鮮では、依然として朝鮮半島の情勢を激化させる軍事的敵対行為と反共和国謀略騒動が続いており、そのため北南関係改善の見通しは不透明である。

今の北南関係の冷却局面は、一方の努力だけで解決される問題ではなく、時間が経てばおのずと解消されるものでもない。真に国の平和と統一を願い、民族の運命と次世代の将来を憂慮するなら、この重大な状況をこれ以上座視してはならず、破局に瀕した現在の北南関係を收拾し改善するための積極的な対策を講じなければならない。

北南関係で根本的な問題から解決しようとする立場と姿勢を持たなければならず、相手

に対する敵対行為を一切中止し、北南宣言を慎重に受け止め、誠実に履行しなければならない。

以前良好に発展していた北南関係は一挙に凍りつき、対決状況に逆戻りした。

現在、南朝鮮当局は防疫協力、人道的協力、個別観光のような非本質的な問題を持ち出し、北南関係の改善に関心があるかのような印象を与えている。

ハイテク軍事装備の搬入とアメリカとの合同軍事演習を中止すべきだというわれわれの再三の警告に依然として背を向け、朝鮮半島の平和と軍事的安定を保障するという北南合意の履行に逆行している。

甚だしくは、われわれの正々堂々たる自主権に属する各種通常兵器の開発に「挑発」と言い掛かりをつけ、武力の近代化に一層狂奔している。

もし、南朝鮮当局がそれを論難したいなら、先端軍事資産の獲得や開発努力を加速化すべきだとか、すでに保有している弾道ミサイルや巡航ミサイルよりも正確で、強力で、遠くまで飛んでいくミサイルを開発するだろうだとか、世界最大水準の弾頭重量をそなえた弾道ミサイルを開発したのだと言った執権者の発言から説明すべきであり、先端攻撃装備を搬入し続ける目的と本心を納得できるように説明すべきである。

南朝鮮当局が二重的で、公平性のない思考観点に立ち、「挑発」だの、何だのと言って引き続きわれわれに難癖をつけようとするならば、われわれもやむをえず、以前とは違ったやり方で南朝鮮に対応するしかない。

南朝鮮当局が不正常で反統一的な所業を厳正に管理し、根源的に取り除いてこそ、強固な信頼や和解に基づく北南関係改善の新しい道が開かれるであろう。

北南関係が回復し活性化するかどうかは、全的に南朝鮮当局の態度如何にかかっており、代価は、払った分だけ、努力した分だけ、受けるようになっている。

現時点において南朝鮮当局に以前のような一方的善意を示す必要はなく、われわれの正しい要求にどう肯定的に答えるか、北南合意を履行するためにどう動くかによって対応しなければならない。

南朝鮮当局の態度次第で北南関係は、近いうちに再び3年前の春のように全同胞の念願通り平和と繁栄の新しい出発点に戻ることも十分可能である。

### **対外関係を全面的に拡大・発展させるための総体的方向と政策的立場**

総括期間、わが党の対外活動の主たる総括と結論は、不法無道にのさばる敵対勢力と強権を振りかざす大国に対しては強対強で立ち向かう戦略を一貫して堅持すべきだということである。

わが国家の戦略的地位に応じて対外関係を全面的に拡大・発展させ、社会主義建設を政治外交的に確実に保証することが現段階における対外活動の総体的方向である。

わが党の尊厳固守と国威発揚、国益守護を共和国外交の第一使命とし、対外活動で自主の原則を確固と堅持しなければならない。

われわれの自主権を侵奪しようとする敵対勢力の策動を粉碎し、わが国家の正常な発展権を守るための外交戦を攻勢的に展開しなければならない。

対外政治活動を朝鮮革命発展の主な障害、最大の主敵であるアメリカを制圧し屈服させることに焦点を合わせ、志向させていかななければならない。

アメリカで誰が権力の座についても、アメリカという実体と対朝鮮政策の本心は絶対に変わらず、対外活動部門で対米戦略を攻略的に樹立し、反帝自主勢力との連帯を引き続き拡大していかななければならない。

また、対外宣伝部門の役割を強め、敵の反動的攻勢を粉碎し国家の地位を高めていかななければならない。

対外活動部門で社会主義諸国との関係を一層拡大・発展させ、自主性を志向する革命的

党や進歩的党との団結と協力を強化し、世界的範囲で反帝共同闘争を果敢に展開し、国家の対外環境を一段と有利に変えていかなければならない。

朝鮮半島と世界の平和と安定をしっかりと守り抜くことは、わが党の確固たる意志である。この惑星でわが国のように恒常的な戦争脅威を受けている国はなく、それだけ平和に対するわが人民の渴望は極めて強烈である。

われわれが最強の戦争抑止力を備蓄し絶えず強化しているのは、われわれ自身を守るためであり、永遠に戦争のない真に平和な時代を切り開くためである。

われわれの国家防衛力が、敵対勢力の脅威を領土外で先制して制圧できる水準に達している以上、今後、朝鮮半島における情勢の激化は即ち、われわれを脅かす勢力の安保不安定につながるであろう。

新しい朝米関係樹立のキーポイントは、アメリカが対朝鮮敵視政策を撤回するところにある。今後も強対強、善対善の原則に基づいてアメリカに対応していくというのが、わが党の立場である。

また、わが共和国は責任ある核保有国として侵略的な敵対勢力がわれわれを狙って核を使おうとしない限り、核兵器を濫用しないということを今一度確言する。

われわれの自主権を尊重する世界の全ての国々との友好・団結を強化し、真の国際正義を実現することが、わが党の対外政策的立場である。

#### 4. 党活動の強化、発展のために

全党に党中央の唯一的指導体系が確立し、党の戦闘力と指導力が非常に強化され、党の基礎を全面的に、細部的に整備・強化したことが総括期間に党活動で収めた貴重な成果である。

わが党は、人民大衆第一主義を政治理念とする使命と任務に忠実であった。

党の戦闘力と指導力を絶えず高めていく時、いかなる障害と難関が横たわっても人民の絶対的な信頼の中で社会主義建設偉業を常に確信をもって勝利のうちに導いていくことができるということこそが、この5年間の党活動の主な総括であり貴重な経験である。

党中央の唯一指導体系を確立するための活動を主眼とし、引き続き深化させていくことが第一の課題である。

党組織と活動家は、いどこにあっても党中央の権威を絶対化し擁護しなければならず、それに反する些細な要素に対しても黙過せず、妥協なき闘いを繰り広げなければならない。

党の指導業績を擁護・固守し輝かせるための活動を終始一貫ゆるがせにせず、特に指導業績単位、現地指導単位を立派に整備し、党政策の貫徹でモデルになるようにすべきである。

党組織は、党の方針実行のための手配と掌握、総括活動を綿密に行って貫徹すべきであり、党内部活動を実質的に行って党と革命隊伍の一心団結を全面的に固めることが重要である。

党の基本的な中核力量、革命の指揮メンバーである幹部陣容を固めることに主眼を置き、幹部が思想的に変質しないよう教育と統制を絶えず強化し、党勢拡大で党的原則、客観が認める厳選の原則を徹底的に守って党隊伍を質的に強固にすべきである。

また、党の末端組織である初級党と党細胞を強化することに引き続き大きな力を入れ、党生活の手配と指導を党活動のキーポイントとしてとらえ着実にを行い、大衆との活動に力を入れ広範な大衆を党の周りによりしっかりと結集させなければならない。

党思想活動は革命を指導する党の基本任務の一つであり、革命と建設を導く全期間にわたって一時もおろそかにしてはならない重要な活動である。

党の思想活動において唯一管理制の原則を徹底的に守るとともに、党宣伝部門に内在し

ている宿弊となっている欠陥を克服し、発展する現実の要求に即して思想教育活動の形式と方法を抜本的に改善していかなければならない。

革命と建設に対する党の指導、政策的指導を強化するためには、当該単位の政治的参謀部である党委員会をしっかりと固めてその役割を高め、党組織で党の決定を正確に採択し無条件に実行する革命的気風を確立し、行政代行、追随主義を徹底的に警戒し、提起される全ての問題を党的方法、政治的方法で解決していかなければならない。

党活動の抜本的な改善のためにはまず、発展する現実の要求に即して不合理な党活動システムと方法を改善し、また、わが党の以民為天の思想を体し、党活動を親人民的、親現実的活動に切り替えなければならない。

党活動において親人民性、親現実性が真に具現されるほど、全党が真実と真理へさらに近づき、わが党の戦闘力は倍加されるということが報告に示された重要な思想である。

現在わが党が最も警戒し第一の闘争対象にすべき標的は、権柄と官僚主義、不正腐敗行為であり、党組織ではそれらの些細な要素とも妥協のない闘いを繰り広げるべきである。

党内で批判と思想闘争、学習を強化し、職能通りに活動する革命的規律を確立し、党活動家の水準と能力を画期的に高めることも、党活動を改善する方途になる。

\* \* \*

今回の党中央委員会の活動報告を通じてわれわれの活動で収められた成果と欠陥、その原因と教訓について、今後の闘争方向と具体的な方途について深みのある認識を持つようになり、集団的討議を経て共通の見解に基づく戦略的・戦術的方針を確定できるようになった。

全ての代表者がわが党の指導思想に立脚して高い党的責任感を持って提起された内容と問題を深く研究・討議するものとの期待する。そして、偉大な金日成・金正日主義の旗印を高く掲げ、党中央の周りに固く団結し、社会主義建設における新たな飛躍と勝利のために、偉大なわが国家のために、偉大なわが人民のために力強く闘っていこう。

## 朝鮮労働党の規約改正について

【朝鮮中央通信 1 月 10 日発】朝鮮労働党第 8 回大会は、第 3 の議案「朝鮮労働党規約の改正について」を討議した。

党中央委員会は、革命発展の要求と党に提起された新しい闘争課題に従って党活動の発展と原理に合わせて党規約の一部の内容を修正、補足して第 8 回党大会の審議に提起した。

第 8 回党大会は、朝鮮労働党第 8 回大会の決定書「朝鮮労働党規約の改正について」を全会一致で採択した。

改正された党規約では、朝鮮労働党の永遠なる指導思想である金日成・金正日主義がさらに浮き彫りになり、党の最高綱領と社会主義の基本政治方式が明白に規制され、党の組織形式と活動規範が一部修正、補足された。

朝鮮労働党の革命的性格をいっそう明白にすることに中心を据え党規約序文の一部の内容が整理された。

序文は、金日成・金正日主義はチュチェ思想に基づいて全一的に体系化された革命と建設の百科全書であり、人民大衆の自主性を実現するための実践闘争の中でその真理性と生命力が検証された革命的かつ科学的な思想であるということについて定式化した。

そして、金日成・金正日主義を革命と建設の永遠なる旗印として高く掲げていくことについて成文化した。

また、朝鮮労働党の革命的な性格と使命をいっそう明白にするため、党の最高綱領である全社会の金日成・金正日主義化について規定した。

わが国家の地位と国力が根本的に変化し、勝利からさらなる勝利に向けて力強く前進している革命発展の要求を反映して、人民大衆第一主義政治を社会主義の基本政治方式に定式化した。

序文は、党の当面の闘争課題に関連する内容を一部修正、補足した。

まず、社会主義の物質的・技術的土台を打ち固め、社会主義の制度的優越性をさらに強固にし、発揚しながら社会主義の完全勝利を早め、共和国の武力を政治的・思想的に、軍事技術的に絶え間なく強化することに関する内容を補足した。

海外同胞の民主的民族権利と利益を擁護・保障し、海外同胞を愛国・愛族の旗印の下に固く結束させ、民族的自尊心と愛国的熱意を呼び起こすことに関する内容を新たに明記した。

祖国統一のための闘争課題の部分に、強力な国防力で根源的な軍事的脅威を制圧し、朝鮮半島の安定と平和的環境を守ることを明白にした。

党規約では、党組織と党員が順守すべき行動準則と活動方式、規範を規定している章、条項の内容を一部修正、補足した。

党大会を5年に一度招集するという内容を補足し、党大会の招集に関する発表は数カ月前にすると修正した。

党中央検査委員会の活動を総括し選挙するという内容を削除し、党中央検査委員会は党中央委員会総会で選挙するとした。

各級党委員会の委員長、副委員長の職制を責任書記、書記、副書記とし、政務局を書記局に、政務処を書記処に直した。

党中央委員会に部署（非常設機構を含む）を設け、必要な場合、党規約を修正し、執行した後、党大会に提起して承認を受けるという内容が補足された。

党中央委員会政治局の任務と権限を規定した条項に党中央委員会の総会を招集するという内容を補足した。

党中央委員会政治局常務委員会は、政治、経済、軍事的に早急に提起される重大な問題を討議、決定し、党と国家の重要幹部を任免する問題を討議するという内容と、党の首班の委任によって政治局常務委員会の委員は政治局会議を司会することができるという内容を一つの条項として規定した。

党中央軍事委員会は、討議する問題の性格によって会議成立の比率に関わらず必要なメンバーだけを参加させて招集できることを新たに補足することで、緊急に提起される軍事的問題討議の迅速性を担保できる実践的保証を与えた。

党規約では、党中央委員会検閲委員会をなくし、その機能を党中央検査委員会に譲渡することを明記した。

党中央検査委員会の権能が高まったことに合わせて、道・市・郡党検査委員会の権能も高め、それに関連する条項を新たに設けた。

党細胞書記大会と初級党書記大会を5年に一度招集するという内容を補足した。

朝鮮労働党の革命的武力としての人民軍の性格を明白に規定し、人民軍内の各級党組織の任務を具体化した。

青年同盟の名称を新しく反映した。

青年同盟の名称を改称する問題は、今後行われる青年同盟大会で決定することになるであろう。

この他、現実合わない一部の表現を修正し、党規約を改正することに合わせて党中央指導機関選挙細則の当該の条項も修正した。

## 朝鮮労働党中央検査委員会の活動総括について

【朝鮮中央通信 1 月 10 日発】

朝鮮労働党第 8 回大会では、第 2 の議案「朝鮮労働党中央検査委員会の活動総括」に対する報告があった。

報告によると、各級党組織と党活動家の間で党財政管理活動に対する正しい観点と立場が確立するようになり、党財政予算の編成と執行において大きな成果が収められた。

党財政の収入が系統的に増え、自立的な党財政土台が強化された。

その結果、党財政は党事業と党活動、党内の経済管理を行うことに必要な支出を保障しながらも、多くの予備をもたらすことになった。

党事業と党活動が深化し、党の指導の下に社会主義建設が力強く推し進められるにつれ、党財政の支出が増えた。

総括期間、党財政は党を強化し、その戦闘的機能と役割を強めることに支出された。

総括期間、党財政は人民の福祉増進のための事業にも支出された。

党財政は、党中央の意図通りに黎明通り（平壤）と三池淵市（両江道）、漁郎川発電所（咸鏡北道）と元山葛麻海岸観光地区（江原道）、平壤総合病院のような国家的な重要建設にも寄与した。

また、朝鮮労働党の崇高な次世代愛、未来愛の志を支えていく上でその一翼を大きく担った。

昨年、思いがけない自然災害を被った人民の不幸を除くことに寄与した。

総括期間、道・市・郡党委員会の党財政予算も成功裏に執行された。

報告は、党財政管理活動において必ず是正すべき欠陥について指摘し、党財政管理活動で新たな前進をもたらすことについて強調した。

党財政経理部署と活動家は、党と革命発展の要求に即して党財政管理活動をいっそう綿密に行い、財政規律を画期的に強化しなければならない。

何よりも、党財政の唯一管理制の原則を徹底的に堅持しなければならない。

次に、党財政管理活動体系と秩序を厳格に確立し、規律を強化しなければならない。

全ての党財政経理部署と活動家は、党財政活動に関連する党の方針と指示を貫徹することによって、党を組織的・思想的にいっそう強化し、指導力と戦闘力を高めるための活動と党の人民大衆第一主義政治を財政的・物質的にしっかり保証しなければならない。

## 朝鮮労働党総書記の推戴について

【朝鮮中央通信 1 月 11 日発】

代表者の高い政治的自覚と積極的な参加熱意の中で 1 月 10 日、朝鮮労働党第 8 回大会の第 6 日会議が行われた。

大会では、第 4 の議案「朝鮮労働党中央指導機関の選挙」を討議した。

朝鮮労働党規約に従って、第 7 期党中央指導機関は自らの任期を終え、第 8 期党中央指導機関の選挙が行われた。

新しい闘争段階の党建設と革命事業の全般に責任を持ち、組織・指導する新しい中央指導機関を選挙する重大な問題の討議に入り、大会場には厳粛かつ重々しい雰囲気の流れ

いた。

「朝鮮労働党中央指導機関の選挙細則」の当該の条項が伝えられ、党中央委員会の委員および委員候補の選挙手続きを始めた。

党中央委員会の委員、委員候補の候補者に対する合理的な推薦方法が決定され、候補者の推薦と選挙が行われた。

大会執行部の委任によって、趙甬元（チョウ・ヨンウォン）代表が第8期中央委員会の委員候補者を提議した。

敬愛する金正恩同志を党中央委員会の委員候補者に提議した瞬間、全ての代表者は激情にかられて万歳を叫び、熱烈な拍手を送った。

提議された全ての候補者は、代表者全員の賛成で党中央委員会の委員候補者に推薦された。

代表者たちは、推薦された党中央委員会の委員候補者たちがわが党の革命思想でしっかり武装し、チュチェの革命偉業の最後の勝利のために生命を賭して闘う信念が確固としており、祖国と人民のために献身的に闘ってきた同志たちであることを一様に認めた。

続いて大会は、推薦された党中央委員会の委員候補者に対する選挙を行った。

司会者がまず、全ての党員と党大会に参加した代表者の一致した意思と念願を込めて敬愛する金正恩同志を党中央委員会の委員に戴くことを厳粛に提議すると、全ての代表者は嵐のような「万歳」の歓呼と万雷の拍手で全面的な支持・賛同を表した。

そして、代表証を掲げて委員候補者に推薦された 138 人を党中央委員会委員に選出することに賛成し、全ての候補者が全会一致で選ばれたことに対し熱烈な拍手を送った。

大会は、党中央委員会の委員候補を選挙した。

代表者は、委員候補の数を可決し、推薦された 111 人の委員候補の候補者に対する審議を行った。

大会では、代表者の一致した賛成によって推薦された委員候補の候補者全員が党中央委員会の委員候補に選ばれた。

大会は次に、栄光に輝く朝鮮労働党の強化・発展とチュチェの革命偉業の遂行において決定的意義を持つ最も重大かつ責任ある問題を討議した。

全ての代表者は、偉大なわが党を代表し導く首班である朝鮮労働党総書記を選挙する最大の重大事を控えて非常に高揚していた。

朝鮮労働党総書記の選挙に関連する提議を李日煥（リ・イルファン）代表が述べた。

提議者は、革命の最高頭脳、指導の中心、団結の中心として領袖の地位を占め、人民大衆の革命偉業、社会主義偉業の遂行において決定的役割を果たす党の最高指導者を正しく推戴することが持つ大きな政治的意義について述べた。

また、領袖の偉大さは即ち党の偉大さであり、国家と民族の強大さであり、革命偉業の不敗性であるという哲理は、朝鮮革命の聖なる歴史と長きにわたる世界革命的党建設史を通じて実証されたと述べ、偉大な金日成同志と偉大な金正日同志の革命偉業を立派に継承しわが党とチュチェ革命を賢明に導いてきた敬愛する金正恩同志の偉大さと希世の業績について強調した。

全ての代表者は、社会主義建設の新たな勝利に向けてより大きな歩みを踏み出すべき革命の継承期、発展期にわが党と人民を勝利と栄光の道へ力強く導く方はただ一人、敬愛する金正恩同志しかいないという厳然たる歴史の真実に皆が共感した。

提議者は、敬愛する金正恩同志を朝鮮労働党の首班として戴くのは、われわれの時代の厳かな要求であり、数百万の党員と人民の確固たる信念であると述べ、全党と全人民の総意として金正恩同志を朝鮮労働党総書記に高く推戴することを本大会に丁重に提議した。

全ての代表者は、興奮した気持ちを禁じ得ず、場内を震撼させる熱狂的な拍手で全面的

な支持・賛同を表した。

朝鮮労働党第8回大会は、金日成・金正日主義党の強化・発展とチュチェの革命偉業の新たな勝利的前進を成し遂げようとする全ての代表者と全党の党员、全国の人民と人民軍将兵の一致した意思と願いを反映して、金正恩同志を朝鮮労働党の総書記に高く推戴すること決定を全会一致で採択した。

その瞬間、全ての参加者は天才的な思想的・理論的英知と非凡で特出した指導力、崇高な徳望で未曾有の壮大な変革と奇跡の時代を開いていく敬愛する金正恩同志を朝鮮労働党の首班として再び高く戴いた大きな感激と歓喜に溢れ、嵐のような「万歳」の歓呼の声を上げながら最大の栄光と最も熱烈な祝賀を捧げた。

現代の最も傑出した政治指導者である敬愛する金正恩同志を朝鮮労働党の総書記に高く戴いたことは、わが党と人民が恵まれた幸運の中の幸運であり、この上ない大慶事であり、朝鮮式社会主義勝利の決定的保証をもたらす明るい前途を約束する大きな政治的出来事である。

会場では、限りなく噴出する烈火のような忠誠心を込めて代表者たちが上げる熱狂の歓呼の音がやまず長い間続いた。

党中央委員会指導機関の選挙が終わった後、朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会が行われた。

敬愛する金正恩同志の委任によって、金才龍（キム・ジェリョン）代表が党中央委員会第8期第1回総会の決定内容を党大会に報告した。

党大会は、第8期中央委員会指導機関のメンバーで党大会決定書草案作成委員会を選挙した。

党大会決定書草案作成委員会は、党大会の報告に提示された課題を貫徹するための問題を研究、討議する代表者の部門別協議会を指導し、各協議会で提起された問題を総合的に審議し、決定書の草案を作成して党大会に提議する活動を行うことになる。

## 朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会について

【朝鮮中央通信 1月11日発】

朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会が1月10日、党中央委員会の本部会議室で行われた。

朝鮮労働党総書記である敬愛する金正恩同志が、総会を指導した。

総会には、第8回党大会で選挙された党中央委員会の委員、委員候補が参加した。

党中央委員会の各部署と道・市・郡党委員会、省、中央機関の責任活動家がオブザーバーとして出席した。

党中央委員会第8期第1回総会では、朝鮮労働党総書記を首位とする党中央委員会政治局と政治局常務委員会を選挙した。

党中央委員会の書記を選挙し、書記局を組織した。

総会では、党中央軍事委員会を選挙し、改正された党規約に従って党中央検査委員会の選挙を行った。

党中央委員会の各部長と党中央委員会機関紙「労働新聞」の責任主筆を任命した。

総会ではまた、党内に新しい規律監督システムを設けることに関する議題を重要に研究、討議した。

敬愛する金正恩同志は、規律を強化するのは革命の参謀部である党が自己の指導力と戦闘力を発揮するための先決条件になると述べ、党内に党規約と党政策を厳格に履行する強

い規律を立て、権柄と官僚主義、不正腐敗の傾向を根絶するには規律監督体系を新しく確立しなければならないと言明した。

敬愛する金正恩同志は、今回の第 8 回党大会で党中央検査委員会の権能を高めるようにしたのは、全党に厳格な規律と革命的紀綱を確立し、わが党を革命する党、闘う党、前進する党により一層強化することに重要な目的があると強調した。

党中央検査委員会が党内に中央集権的規律をいっそう強化し、中央の唯一的指導の実現を阻害する党規律違反行為と権柄、官僚主義、不正腐敗、権勢、専横をはじめとする一切の行為を監督・調査して党規律問題を審議し、苦情の申し立てや請願を処理し、党の財政管理活動を検査するよう任務を新しく規定したことを明らかにした。

総会は、党中央検査委員会の権能を高め、党内の規律を強化するための監督・調査活動を専門的に担うことになったことに合わせ、それを保証する機構的対策として執行部署を設けることを決定した。

党中央委員会から道・市・郡の党委員会に至るまで、党規律問題を専任する部署が設けられて活動を始めれば、党の組織規律に違反、挑戦し、規約と職能に反する傾向と革命的党風を濁らせるあらゆる傾向が多く抑制されると、総会は分析した。

敬愛する金正恩同志は、党規律監督活動を受け持つ部署が堅持すべき活動原則と方法、基本課題を明示し、国家規律と法執行を改善するための党の指導も強化し、党と国家の規律を確立する活動を統一かつ同時に推し進めることについて言明した。

敬愛する金正恩同志は、規律違反問題と苦情の申し立て、請願の処理にあたって、常に党と革命の利益の見地から、党と大衆の一心団結をしっかりと守り固める見地から、活動を企画、展開していくことについて重要に強調した。

第 8 回党大会を契機に、党内に規律を確立する活動を実際に監督・統制することのできる新しい機構体系、活動体系が樹立され、第 8 期党中央委員会が全党的な規律強化のための活動を強力に展開することのできる有意義な出発点、転換点をもたらされた。

敬愛する金正恩同志の指導の下に行われた党中央委員会第 8 期第 1 回総会は、党と革命に提起された重大な闘争路線と戦略的・戦術的方針を貫徹するための活動を巧みに策定し導くことのできる確固たる保証をもたらし、全党に鉄の規律と革命的党風を確立し朝鮮労働党の指導力と戦闘的機能を全面的に強化する上で画期的な契機となった。

## 朝鮮労働党第 8 回大会部門別協議会について

【朝鮮中央通信 1 月 12 日発】

朝鮮労働党第 8 回大会部門別協議会が 1 月 11 日に行われた。

各部門別協議会では党中央委員会活動総括報告に提示された課題を貫徹するための決定書草案の研究に取り組んだ。

朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員である崔龍海（チェ・リョンヘ）同志、趙甬元（チョウ・ヨンウォン）同志、李炳哲（リ・ビョンチョル）同志、金徳訓（キム・ドククン）同志をはじめとする党中央指導機関メンバーが部門別協議会を指導した。

協議会では、わが革命の新しい前進発展のために社会主義建設の各分野で達成すべき今後 5 年間の闘争目標と課題を貫徹するための実践的問題が真摯に討議された。

代表者たちは、党と国家の全般的活動を新たな革新、大胆な創造、絶え間ない前進を志向、奨励することへ確固と転換させるためには、自らの部門、自らの単位の科学的かつ現実的で動員的な発展方向と具体的方途が切実であるということを一様に認めた。

社会主義建設の新しい活路を開くための基本戦線である経済戦線で、内閣が国の経済司令部として内閣責任制、内閣中心制を円満に運営し、国家経済の主要命脈と全一性を強め

るための活動を強く推し進め、経済管理を改善するうえで、差し迫った問題が討議された。

工業部門協議会で代表者たちは、新たな国家経済発展 5 年計画期間、金属工業と化学工業をキーポイントと捉え投資を集中し、電力、石炭、機械、採掘工業など基幹工業部門で生産を正常化し、国家経済の自立性と計画性、人民性を強化するための方途的問題を科学的な打算と数字資料に基づいて分析した。

農業部門協議会では、種子革命、科学農業、低収穫地での増産、新しい土地開墾と干拓地の開墾に力を入れ、党が提示した穀物生産目標を無条件に達成し、農村経営の水利化、機械化を実現し、農村に対する国家的支援を強化するための方途が深く論議された。

軽工業部門で原資材の国産化、再資源化を生命線、主たる方向としてとらえ、近代化を促し、製品の質を高め、新しい製品開発に力を入れ、一般消費財生産を増やすための実質的な対策が、軽工業部門協議会で討議された。

教育、保健医療、文化部門協議会で代表者たちは、党大会報告で提示された社会主義文化建設の革新的な方向と当該の課題をもって、自らの部門、自らの単位の発展戦略を研究した。

科学技術発展を社会主義建設における重要な中核的な課題、最善の方略と規定した党の意図通りに科学技術発展を促し、新たな 5 年計画期間に達成すべき各部門の科学技術発展目標と実行の方途に対する現実的可能性を十分に打算した。

教育部門で世界的な教育発展趨勢と教育学的要求に即して、教育内容と方法、授業管理制度を絶えず更新し、保健医療部門の物質的・技術的土台を強化して社会主義保健医療を発展させ、いかなる世界的な保健医療危機にも対処できる防疫基盤をうち固め、文学・芸術、出版・報道、スポーツ部門で一大革命を起こして社会主義文化の新しい開花期を切り開くことに寄与する進取的な意見が提起された。

軍事部門、軍需工業部門協議会では、国家存立の礎石であり、国と人民の尊厳と安全、平和守護のしっかりとした担保である国家防衛力強化のための重大な戦略的課題を実行するうえで提起される問題が協議された。

代表者たちは、人民軍を朝鮮労働党化した革命的党軍、先端化した近代的な軍に、わが国家と人民の頼もしい守護者に一層しっかり準備させ、国防工業を飛躍的に強化・発展させるための党中央の雄大な構想を実現するうえで、有意義で喫緊の対策的意見を出した。

党、勤労者団体部門協議会で代表者たちは、時代と発展する現実の要求に即して党活動に抜本的な転換をもたらし、勤労者団体組織を強化するという党の指導思想に立脚して高い党的責任感を持って問題討議に熱中した。

参加者たちは、党中央の唯一的指導体系を確立するための活動を主眼とし引き続き深化させ、全党に鉄の規律と革命的党風を徹底的に確立して党の指導力と戦闘的機能を全面的に強化し、党活動を改善するうえで提起される現実的な問題を討議した。

党の紐帯であり、外郭団体である勤労者の団体・組織が内部活動と思想教育を主眼としすべての団体・組織を党の革命思想でしっかり武装させ、特に青年同盟を党の交代者、後続部隊にしっかり準備させるための方法論的な意見が出た。

十分な研究と積極的な集団討議が、終始真摯かつ実務的な雰囲気の中で行われた協議会では、党大会決定の貫徹を保障する科学的かつ革新的な意見がまとめられた。

部門別協議会に参加したすべての代表者は、革命の新たな高揚期、激変期の要求に即して自らの部門活動を一新する非常な覚悟と闘志を抱き、党 8 回大会決定貫徹のための実践闘争過程で、自分たちの高い党性と厳かな誓いを検証してもらおうという燃える熱意に満ちていた。

## 朝鮮労働党第 8 回大会の閉幕について

【朝鮮中央通信 1 月 13 日発】

全党の党員と全国の人民、人民軍将兵の熱烈な支持と期待の中で、朝鮮労働党第 8 回大会は上程されたすべての議案に対する討議を成功裏に終え 1 月 12 日に閉幕した。

金正恩総書記が、第 8 回党大会に関連する綱領的な結語を行った（全文 26 ページ）。

朝鮮労働党第 8 回大会は、第 1 の議案に対する決定書「朝鮮労働党中央委員会第 7 期活動報告に提示された課題を貫徹することについて」を全員賛成で厳かに採択した。

朝鮮労働党の金正恩総書記が閉会の辞を述べた（全文 32 ページ）。

最後に「インターナショナル」の歌が荘重に奏楽された。

朝鮮革命発展の重大な時期に開催された朝鮮労働党第 8 回大会は、現段階でわが党と人民が進むべき正確な前進方向と科学的な戦略的・戦術的方針を打ち出し、その実現のための強力な牽引力を確保することによって、全党が強固な全一体を成し、絶え間なく創造し、革新していく朝鮮労働党の革命的姿と戦闘的気概をあまねく誇示した。

朝鮮労働党第 8 回大会は、偉大な金日成・金正日主義党の強化・発展と朝鮮式社会主義偉業の全面的発展のための戦闘的行路で一大分水嶺となった政治的出来事、革命の新たな高揚期、激変期を開くための歴史的進軍を力強く促した闘争と前進の大会として朝鮮労働党と祖国の歴史に輝かしく記されるであろう。

### 金正恩総書記の結論

2021 年 1 月 12 日

親愛なる代表者の皆さん!

朝鮮労働党の歴史において 8 回目となる本大会は、革命と建設の新たな高揚期、激変期を切り開くための当面の闘争計画と、党を強化・発展させるための重要な問題を上程し、真摯な討議を行いました。

本大会はまず、第 7 期党中央委員会の活動状況を全面的かつ立体的に、細部にわたって分析・総括し、社会主義建設の画期的前進のための新しい闘争路線と戦略・戦術的問題について深みのある討議を行いました。

報告と討論、部門別協議会では、党と国家、軍隊の活動と社会生活の各分野に内在している偏向や欠点が具体的かつ辛らつに批判・総括され、それを克服するための厳かな決心と意志が表明されました。

そして、新たな 5 カ年計画期間に達成すべき目標と課題の遂行方途を見出すための研究と討議が活発に行われ、この過程で提出された建設的な意見が党大会決定書草案作成委員会にまとめられました。

第一議題の討議を通じて、わが党と国家と人民が今後、何をどうすべきかがより明確になり、朝鮮革命の新たな勝利を勝ち取るための闘争方策が一層確実なものになりました。

わが党がこれまでの党大会とは異なり、今回の大会で自らの活動を肯定的な面ではなく、批判的な立場に立って冷静に分析・総括したのは、総括期間に収めた成果に劣らぬ大きな意義を持ちます。

本大会では、第 7 期党中央検査委員会の活動総括も批判的かつ厳正に行い、党事業と党

活動で以前の古いもの、現実とかけ離れていた諸問題を党建設の原理に合うようにわれわれの方式で是正するための決定的な対策を講じました。

党建設と党活動の原理と発展する現実の要求を正確に反映し朝鮮労働党規約を改正することによって、党の指導力と戦闘力を強化し、健全な発展を遂げるための重要な基盤が築かれました。

本大会が第8期党中央委員会を党と革命に忠実で実務能力のある人たちで固め、党内に新しい規律監督システムを樹立したのは、わが党が革命の強力な参謀部としての使命と役割を果たす上で画期的な転機となります。

代表者の皆さん!

本大会で私は、代表者の皆さんと全党の党員の厚い信頼を得て、再び朝鮮労働党の最高指導職責を担いました。

全ての党員たちが、私に尊厳ある朝鮮労働党総書記の重責を任せてくれたことを最大の光栄と思いながらも、恐縮と重い気持ちを禁じえません。

私は、偉大な金日成・金正日主義党を代表し責任を持つという聖なる使命感を深く自覚し、党大会が打ち出した闘争綱領を実現するために全力を尽くし、偉大なわが人民を私の運命の天のごとくみなし、真の人民の忠僕として為民献身の道で決死奮闘することを厳かに誓います。

代表者の皆さんの全幅の支持と賛同を得て選出された第8期党中央委員会は、全党の党組織と党員の高い期待と信頼に報いるべく朝鮮式社会主義の建設で新たな勝利を勝ち取るために正確で洗練された指導力を発揮し、時代が与えた任務を忠実に完遂するでしょう。

代表者の皆さん!

今日、朝鮮革命の外部的環境は依然として厳しくて鋭く、今後われわれの革命活動が順調に進まないときもあるでしょう。

しかし、最悪の条件と試練の中で、他の人々なら想像もつかない偉大な勝利を収めたわが党と人民にとって克服できない難関はありえません。

われわれは新たな信念と勇気を持って党と革命隊伍、国家の威力を全面的に強化するための闘争を力強く繰り広げ、持続的な前進と発展の道に速やかに入らなければなりません。

社会主義建設の主体的な力、内的原動力を一段と強化し、各分野において偉大で新しい勝利を達成しようというのが、朝鮮労働党第8回大会の基本思想、基本精神です。

言い換えれば、われわれの内部の力を全面的に整備・再編成し、それに基づいて全ての難関を正面突破して新しい前進の道を切り開かなければならないというのが、本大会を通じて再確認された朝鮮労働党の革命的意志です。

朝鮮革命に提起された重大な歴史的課題は、全党が以民為天、一心団結、自力更生を、いま一度肝に銘じ、より高く掲げていくことを求めています。

以民為天には、全党が人民に奉仕することを党建設と党活動の出発点、不変の原則とする革命的党風を確固と堅持するというわが党の恒久的な要求が反映されており、一心団結と自力更生には、朝鮮革命の生命線と前進の原動力に関する思想的・理論的観点と政策的要求が集約されています。

「以民為天」「一心団結」「自力更生」、まさにここにわが党の指導力を強められる根本的秘訣があり、わが党が大衆の中に一層深く根を下ろすための根本的方途があり、われわれが唯一に生き続け、前途を切り開くことのできる根本的保証があります。

私は、今回の党大会で何らかのものものしいスローガンを掲げるよりも、わが党の崇高な「以民為天」「一心団結」「自力更生」という三つの理念を今一度銘記することで、第8

回党大会のスローガンに代えようと提起します。

全党が新しい道程を歩み始める強い覚悟と自信、熱情を抱いて、党大会が指し示した歴史的な進軍方向に沿って果敢に進まなければなりません。

何よりも、新たな国家経済発展 5 年計画を必ず遂行するために決死の闘争を繰り広げなければなりません。

社会主義経済建設は、今日、われわれが総力を集中すべき最も重要な革命課題です。

われわれが直面している今の難局を打開し、人民生活を一日も早く安定・向上させ、自力富強、自力繁栄の確固たる担保をもたらすためには、一番の難題である経済問題から早急に解決しなければなりません。

まず、経済部門の主要攻略対象を正しく定め、そこに力を集中しなければなりません。

新たな国家経済発展 5 年計画の中心的課題は、金属工業と化学工業を経済発展のキーポイントとしてとらえて、基幹工業部門間の有機的連係を強めて実際の経済活性化を促し、農業部門の物質的・技術的土台を強固にし、軽工業部門で原料の国産化の比重を高め人民生活を一段と引き上げることです。

金属工業と化学工業部門から、正常の軌道、活性化の段階に確固と押し上げるための活動に力を集中し、それに基づいて他の部門も共にもり立てる方向へ進まなければなりません。

金属工業と化学工業の発展を先行させる原則に立って、国家的な経済組織活動を綿密に行うべきです。

国の経済力を、何の見積もりもなしに分散させるのではなく、鉄鋼材と化学製品の生産能力を大幅に伸ばすことに最大限合理的に活用できるよう、経済の作戦と指揮を強めることが重要です。

全ての経済活動を、人民の生活をバランスよく安定・向上させることに向けなければなりません。

ここで基本となるのは、農業生産に引き続き力を入れ人民の食糧問題を基本的に解決することです。

新たな 5 年計画期間に、農業部門が一層奮発し、国家的な投資も増やして穀物の生産目標を必ず達成しなければなりません。

特に今後 2~3 年の間に、毎年の国家義務買付け計画を 2019 年度の水準に定めて必ず達成し、将来は買付け量を増やし人民に正常的に食糧を供給できるようにすべきです。

軽工業部門では新たな 5 年計画期間、原料と資材の国産化、再資源化をキーポイントとしてとらえ、消費財の生産を増やし、人民の生活向上のための闘争で新たな前進を遂げねばなりません。

軽工業部門においては、原料、資材を供給する全ての分野で生産を正常化できるよう、国家的な経済技術的対策を強く講じなければなりません。

次に、全ての部門、全ての単位で、新たな国家経済発展 5 年計画を遂行するための具体的な課題と方途を見出し、確実に実行しなければなりません。

党大会は総括期間の教訓にてらし、今回は客観的かつ厳正に検討し、現実に最大限接近させて実現可能な新しい闘争目標を示しました。

全ての部門、全ての単位で、今後の条件と環境を予見し判断しながら、段階別、年次別計画から綿密に作成することが極めて重要です。

当該単位でいったん計画を立てた後は、その実行のための科学的かつ具体的な作戦と指揮を実行し、どんな事があっても無条件遂行し、国家的に人民経済計画の遂行状況を指標別に厳格に掌握、推進、総括する強い規律を確立しなければなりません。

新たな国家経済発展 5 年計画遂行の成否は、経済管理をいかに改善するかにかかって

います。

党中央の経済部署と内閣、国家計画委員会、工場、企業をはじめ全ての部門が協力し、経済管理を改善するための決定的な対策を講じるべきです。

テストケースとして研究・導入している方法と、経営管理、企業管理をしっかりと行っている諸単位の経験を結び付けることをはじめ、われわれの実情に合いながらも最良化、最適化の効果を表す経済管理方法を研究・完成する活動を積極的に推し進めなければなりません。

新たな 5 年計画期間、国家の統一的な指揮と管理の下に経済を動かすシステムと秩序を復元・強化することに党的、国家的な力を入れるべきです。

党大会以降にも特殊性を云々し、国家の統一的指導を妨害する行為に対しては、どの単位を問わず強い制裁を加えなければなりません。

内閣と国家計画委員会は、人民経済の自立性を強め、生産を増大させる立場に立って部門と工場、企業が生産的連係と協同を円滑に実現できるように経済の組織と指揮を強めるべきです。

科学技術の実地的な発展をもって、経済建設と人民の生活向上を確固として保障しなければなりません。

科学技術は社会主義建設を牽引する機関車であり、国家経済の主たる発展の原動力です。

科学技術部門では、国家経済発展の新たな 5 年計画を達成するための重点課題、研究課題をターゲットに定め、力を集中すべきです。

新たな 5 年計画期間、国の科学技術水準を一段と引き上げ、科学者、技術者と生産者との間の創造的協力を強め、経済建設と人民の生活向上で提起される科学技術上の問題から一つ一つしっかりと解決しなければなりません。

市、郡の自立的で多角的な発展を促進し、地方経済を発展させ、人民の生活水準を向上する土台を築くべきです。

現在、農村をはじめとする市・郡の住民の生活は非常に困難で立ち遅れています。これからは、地方経済の発展と地方人民の生活向上に注意を払う考えです。

国家的に全ての市、郡に毎年 1 万トンのセメントを保障する活動を強く推し進めなければなりません。

国家経済指導機関は、市・郡が自らの経済的土台を円滑に構築できるよう、地元の特性に即して発展できる特惠措置を講じる共に、正しい指導と援助が伴うようにすべきです。

農村で思想・技術・文化の 3 大革命を力強く推進し、国家的支援を増やして農村基盤を決定的に固め、農業生産の物質的・技術的土台を強固にし、文化的で裕福な社会主義的農村に変えなければなりません。

新たな 5 年計画期間に教育と保健医療の発展に国家的な力を入れ、中央と地方を問わず、人民が社会主義教育制度と保健医療制度の優越性を肌で感じられるようにすべきです。

全党的、全国的、全人民的に強力な教育と規律を先行させ、社会生活の各分野で現れているあらゆる反社会主義的・非社会主義的傾向、権力乱用と官僚主義、不正・腐敗、税金外の負担など、あらゆる犯罪行為を断固阻止し統制しなければなりません。

国防力を質的、量的に一層強化することを重要な課題としてとらえていくべきです。

核戦争抑止力をより強化すると共に、最強の軍事力を備えることに全力を注ぐべきです。

人民軍の最精鋭化、強兵化に引き続き拍車をかけ、いかなる形態の脅威と不測の事態にも国家防衛の主体としての使命と役割を果たせるようしっかりと準備させるべきです。

国防科学技術をより高い水準に引き上げ、軍需生産の目標と課題を無条件で遂行して、新たな 5 年計画の期間、わが党の歴史的進軍を最強の軍事力をもって保証すべきです。

今日、われわれに提起された責任ある重大な革命課題を立派に遂行するためには、何よ

りも党を強化し、その指導的役割を一層強めなければなりません。

全党の党組織が忠誠の前衛隊伍として強化され、革命的かつ進取的に活動し、当該単位の政治的参謀部としての役割を円滑に果たす時、党と革命発展の偉大な全盛期が開かれることになるのです。

全ての党組織は、党の内部活動に力を入れ幹部陣容と党隊列を精幹化・精鋭化し、党生活指導を一層強めることによって、党の組織的・思想的基礎を不断に固めなければなりません。

わが党が、活動する党、闘争する党、戦闘力のある党になるよう、全党に整然とした党活動システムを立て、斬新な党活動方法を確立すべきです。

党組織が決起し、新たな闘争路線と戦略・戦術の方針を貫徹するための組織・政治活動を本格的に力強く繰り広げ、当該単位の活動で舵取りの役割を果たさなければなりません。

経済実務にとらわれ行政代行をするような傾向を打破し、革命と建設で提起される全ての問題をあくまで党的方法、幹部と党員と勤労者の精神力を發揮させる政治的方法によって解決することを侵しえない鉄則としなければなりません。

特に、組織指導部、宣伝扇動部をはじめとする党中央委員会の各部署が、党大会の決定貫徹のための党の指導、政策的指導を綿密に攻勢的に強化すべきです。

革命の指揮メンバーである幹部は、前進する隊伍の先頭に立って自分の責任と本分を果たさなければなりません。

幹部の能力と役割に一つの単位、一つの部門の運命がかかっています。

今日、朝鮮革命の前途に横たわっている幾多の難関と試練、われわれの世代に課された強国建設の大業は、幹部が重荷を担い、優れた活動能力と熱情、献身性を發揮することを求めています。

今こそ、党と国家の苦悩と憂慮を少しでも軽減するため、あくせくと努力する幹部、ひたすら革命と仕事しか知らず、人民のためになる事なら一つでも多く成し遂げようと奔走する幹部、任された仕事で目に見える実績を上げる幹部が必要な時です。

全ての幹部は、自分の党性、革命性、人民性が実際の活動能力と実績によって評価されるという覚悟を持ち、党大会以後の壮大な道程の最初からしっかりと手はずを整えて取り組むべきです。

幹部は誰もが、人民の期待を片時も忘れず、一日一日を誇らしく良心的に総括できるように発奮し、また発奮しなければなりません。

幹部は、分からないことがあれば謙虚に学び、能力が足りなければ徹夜してでも水準を高め、活動において自己満足や停滞を絶対に許してはならず、自分自身に対する要求の度を絶えず強め、闘争気風と活動態度において革命的な改善をもたらすべきです。

全党の党員が、党大会の示した課題貫徹のための闘いで中核的・先駆的役割を果たすべきです。

党員が奮発し決起して、今日の苦難を先頭に立って真っ向から突破すれば、克服できない難関、占領できない要塞はありません。

全ての党員は、不屈の精神力と英雄的闘争によって、祖国解放戦争の偉大な勝利をもたらし、困苦欠乏に耐えながらも戦後の復興建設を短期間に立派に成し遂げた戦勝世代の精神を受け継いで、最も困難で骨の折れる部門で一翼を担わなければなりません。

第8回党大会が打ち出した聖なる闘争目標と課題を立派に遂行する上で、新しく選出された党中央指導機関のメンバーと代表者の皆さんが担った任務は一番重大です。

新しく選出された第8期党中央指導機関のメンバーは、いつどこあっても党員と人民の貴い信頼と期待を片時も忘れず、党大会の課題貫徹のための闘いで強い責任感と献身性を發揮し、充実した活動結果をもたらすべきです。

代表者の皆さんは、自分自身が直接討議・決定した党大会の課題が、自分たちの持ち場と職場で立派に貫徹されるよう心魂を傾け、粘り強く闘うべきです。

党と革命の差し迫った要求を誰よりもよく知る代表者の皆さんは、党大会の思想と精神を大衆の心に深く刻み込み、率先垂範して大衆を奮起させ、自らの部門、自らの単位の活動で著しい発展をもたらすべきです。

代表者の皆さん!

社会主義偉業の新たな勝利を獲得し赫々たる前進を遂げるには、より困難な正面突破戦を覚悟しなければなりません。

敵対勢力はさらに躍起になってわれわれの前進を阻もうとしようし、世界はわが党の政治宣言と闘争綱領がどのように実現するかを注視するでしょう。

党の構想と決心を徹底した実践的行動で実現する全ての党员と人民、人民軍将兵の燃えるような忠誠心と一心団結の不敗の力がある限り、われわれの勝利は確定的です。

共に、第8回党大会が示した闘争綱領を立派に実現するために、栄えある朝鮮労働党の強化・発展とチュチェ革命偉業の勝利的前進のために、偉大なわが人民のために一層力強く闘っていきましょう。

## 朝鮮労働党第 8 回大会で採択された決定書 「党中央委員会第 7 期活動報告で示された課題の貫徹について」

【朝鮮中央通信 1 月 13 日】

朝鮮労働党第 8 回大会は、わが党と革命の前に提起された重大な問題に対する真摯な討議に基き、決定書「朝鮮労働党中央委員会第 7 期活動報告で示された課題の貫徹について」を全会一致で採択した。

決定書は、金正恩総書記が大会で行った「朝鮮労働党中央委員会第 7 期活動報告」が総括期間、わが党と人民が収めた輝かしい勝利と成果を正確に総括し、朝鮮式社会主義偉業の画期的前進を遂げるための今後 5 年間の闘争方向と方途を科学的に示したと評価した。

決定書には、現在の国内外の形勢下において、朝鮮革命の貴重な成果と経験、教訓に基き社会主義建設を勝利に向けた次の段階へと移行させるための経済、国防、文化、国家社会管理など、各分野の新しい闘争目標と革新的な遂行方途が反映されている。

代表者の部門別協議会を通じて深く研究・討議された決定書は、科学性と現実性、動員性が十分に保障され、全党の組織的意思と決心が集大成された至上の実践綱領となる。

決定書は、本大会が働く大会、闘う大会、前進する大会の性格にふさわしく、この 5 年間に第 7 回党大会の決定貫徹で現れた欠陥と原因を全面的、立体的、解剖学的に分析・総括し、実践的な克服方途を深く討議した結果を反映した。

決定書では、全党的な闘争の度合い、闘争の熱意をより高め、欠陥を是正・克服し、党の強化・発展と社会主義建設で画期的前進を遂げていこうという朝鮮労働党第 8 回大会の確固不動の意志が表明された。

決定書は、金正恩総書記が党中央委員会第 7 期活動報告で提起した戦闘的課題を貫徹していこうとする全ての代表者と全党の党員の革命的志向と決心が反映された今後 5 年間の社会主義建設目標を展開した。

決定書の採択は、栄光に輝く朝鮮労働党の 75 星霜を 80 年へとしっかりつなぐ決定的時期に、わが国家と人民を強大かつ富裕な道へ導く正確な目標の確定となり、以民為天、一心団結、自力更生の理念を再び深く胸に刻み、社会主義の新たな勝利を獲得していこうとする全党の数百万の党員の革命的意志の発現となる。

全国の全ての党員と人民が信念と楽観に満ち、2020 年代の初年の進軍を開始した時期に第 8 回党大会が採択した決定書は、朝鮮式社会主義の全面的発展のための新たな段階の歴史的闘争を荘厳な創造と変革へと牽引する威力ある戦闘的旗印になるであろう。

朝鮮労働党第 8 回大会の決定書は、全党の各級組織に党内本で配布される。

### 金正恩総書記の閉会の辞

2021 年 1 月 12 日

親愛なる代表者の皆さん!

わが党の強化・発展と朝鮮式社会主義建設の道程で極めて重要な時期に行われた朝鮮労働党第 8 回大会は、代表者の皆さんの高い熱意によって、上程された全ての議題を十分に討議・決定し、その活動を終えることとなります。

大会の全期間、代表者の皆さんは最大の自覚と責任感を持って問題の討議に誠実に参加し、建設的な意見を積極的に提起して意思を一致させながら、働く党、闘争する党、前進する党としてのわが党の戦闘的姿を余すところなく示しました。

今まで全党的に重要な政治的な集会や大きな会合が数多く開かれ、そのたび党中央の政策と思想に対する参加者の熱意が極めて高く発揮されましたが、今回の第8回党大会のように満場が問題の討議に心酔し熱中する、このような高い熱意に接するのは初めてです。

全ての代表者がみな一つになり、わが革命活動の成否を自分自身や子孫の運命と結びつけて苦心しながら、討議される全ての問題を積極的に真摯に研究し、緊張した大会の活動に積極的に参加しました。

私は代表者の皆さんが、大会を見守るわれわれの数百万の党員と数千万の人民の期待がこもった心と視線をつねに自覚し、革命活動の前進と発展のために重い責任感を一緒に抱き、最も正確で最も力強いわれわれの闘争方向と戦略・戦術を確定することに心魂を傾けたことに非常に感動し、そこから大きな力を得たばかりでなく、とてもありがたく思っています。

第8回党大会が確定した革命的路線と当面の闘争計画は、全ての党員と人民に明日への大きな希望を抱かせ、大衆を新たな闘争と偉勲へ奮い立たせるであろうし、わが党を組織的、思想的に一層強化し、革命と建設全般に対する指導力を強める上で決定的な転換をもたらすでしょう。

代表者の皆さん!

今回の第8回党大会を通じて、度重なる挑戦と試練の中でも一つの思想と意志で固く団結し、新たな闘争目標を目指して絶え間なく前進・飛躍するわが党と人民特有の団結力と革命的熱情が、今一度力強く発揮されました。

第8回党大会を防衛するために全党の党員と人民、人民軍将兵は、自分の職場と哨所をしっかりと守り、類のない活動成果をもって今回の党大会に対する熱烈な支持と期待を表明しました。

私は、第8回党大会の成功のために高度の緊張を堅持し、限りない献身性と革命性を発揮した全ての党員と人民、人民軍将兵に本大会の名で熱い感謝を送ります。

代表者の皆さん!

朝鮮労働党第8回大会は、偉大な金日成・金正日主義の旗印を変わることなく高く掲げ、勝利への確信と勇気を持ち、必ずや朝鮮式社会主義の富強・発展を成し遂げようとする革命家としての確固不動の意志を誇示した闘争と前進の大会となりました。

大会は、鋭い内外情勢の変化と、それが朝鮮革命に及ぼす主観的・客観的環境を細部にわたって分析し、この5年間の活動を正しく総括し、それに基づき、当面の新たな環境と革命情勢に立脚して国家の経済的土台の再整備と発展、そして国家社会制度の強化のための科学的で正確な戦略・戦術の方針を提示することによって、党と国家の活動全般の前進方向を明示しました。

これは、われわれの前進のための新たな原動力をもたらし、明白な里程標を立てたことを意味し、よってわれわれの聖なる偉業を力強く牽引する契機になったと確信します。

第8回党大会は、党の強化・発展においても極めて重要な意義を持ちます。

わが党の強化・発展の道程でもう一つの偉大な過程を経たわれわれは、いつにもましてわれわれの闘争に対する確信と自負に満ちており、われわれ自身が担った責任の重大さを今一度深く感じています。

党大会の決定は、朝鮮式社会主義建設で新たな勝利を得るためのわが党の戦略・戦術であり、朝鮮労働党が革命と人民に立てた誓いであると同時に、偉大なわが人民が党中央委員会に与えた至上命令です。

党員である代表者の皆さんは、党大会の決定にこのような崇高な観点で接し、重くて栄

えあるものとして受け入れなければなりません。

国家経済発展 5 カ年計画をはじめ本大会で決定された課題をどのように貫徹するかによって、社会主義偉業の前途が左右されます。

われわれは、党大会が打ち出した綱領的課題を無条件貫徹して朝鮮革命を今一度高揚させ、一日も早く人民により良い安定した生活条件と環境を提供しなければなりません。

われわれは、党大会の決定貫徹のための全党的な学習を組織し、大会で確定された闘争課題と任務を徹底的に受け入れ、果敢な闘争を展開して社会主義建設を新たな段階へと移行させなければなりません。

それゆえ各級党組織は、党大会の文献と決定で武装するための集中的な学習を組織し、その貫徹のための討議と組織・政治活動を着実にやり、党大会の決定を貫徹するための戦術を綿密に立て、力強く闘わなければなりません。

まず党員大衆を先に奮い立たせ、彼らが先駆的な闘争を繰り広げ、集団を新しい奇跡と偉勲へと導くようにし、全ての単位、全国が党大会の決定貫徹のために沸き立つようにしなければなりません。

新しく改正した党規約に対する全党的な学習を行い、党組織と党員が党活動と党生活の全ての過程と契機に党規約上の規範を遵守する気風を確立すべきです。

代表者の皆さん!

われわれの前途には依然として幾多の試練と難関が横たわっていますが、われわれの決心は確固たるものであり、未来は楽観的です。

わが党はこれまでと同様、今後とも変わることなく人民大衆第一主義に限りなく忠実であり、社会主義建設における絶え間ない新たな勝利を獲得するために全力をつくすでしょう。

偉大な金日成・金正日主義を百戦百勝の旗印として高く掲げた朝鮮労働党が革命と建設を正しく導いており、党と人民大衆の一心団結の不敗の威力がある以上、朝鮮革命はいかなる困難も乗り越えて力強く前進するでしょう。

ともに、社会主義の偉業、チュチェの革命偉業の勝利への確固たる信念を抱き、党中央委員会の周りに鉄のように団結し、革命の新たな勝利を目指して力強く前進しましょう。

私は、全ての党組織と党員、全ての人民と人民軍将兵の高度の戦闘力と団結力、強い愛国的熱意と堅忍不拔の努力によって、本大会が提示した闘争戦略と方針が立派に貫徹され、朝鮮式社会主義の建設で画期的な前進がもたらされるものと確信しつつ、朝鮮労働党第 8 回大会の閉会を宣言します。

## 【解説】

党第 8 回大会の基本思想、基本精神  
労働新聞 2021 年 1 月 16 日

朝鮮労働党第 8 回大会は、金正恩同志を朝鮮労働党の首班として再び高く戴いた栄光の大会、朝鮮式社会主義の全面的発展を成し遂げているうえで戦闘的な旗じるしを築いた歴史的な大会である。大会では社会主義の偉業を勝利の次の段階へ移行させるうえで提起される明確な闘争課題と方途が示された。

党が示した戦闘的課題を決死の覚悟で貫徹するために、すべての幹部と党員と勤労者が党第 8 回大会の基本思想、基本精神をよく知り、徹底的に具現すべきである。

金正恩同志はつぎのように述べた。

「皆が党第 8 回大会の打ち出した闘争綱領の輝かしい実現のために、栄えある朝鮮労働党の強化・発展とチュチェ革命偉業の勝利的前進のために、偉大なわが人民のために、よりいっそう力強く闘っていきましょう」

党第 8 回大会の基本思想、基本精神は社会主義建設の主体的力、内的動力を非常に増大させ、各分野で偉大な新たな勝利を成し遂げているということである。言い換えれば、われわれの内部的力を全面的に整理整頓・再編成し、それに基づきあらゆる難関を正面突破しながら新たな前進の道を切り開かなければならないということである。

党第 8 回大会の基本思想、基本精神には現存する外部の挑戦を最も確実に、最もはやく撃破できる近道が明示されている。

総括期間、米国の狂気に満ちた攻勢とそれに追従する勢力の必死の圧迫封鎖策動のため、わが共和国をめぐる対外環境は、建国以来類がなく厳しかった。

わが党と共和国政府は善意の努力と最大の忍耐を発揮したが、米国の対朝鮮敵視政策は弱まるよりむしろ酷くなった。このほかに毎年押し寄せた大きな自然災害と昨年発生した世界的な保健医療危機の長期化も経済活動に深刻な障害となった。

これにより国家経済発展 5 カ年戦略で主要経済部門を盛り立てるために予見した国家的投資と必要な条件の保障が正しく実行されなかった。

客観的条件にかこつけば何もできず、主体の作用と役割が不要になり、不利な外的要因がなくなる限り、いつになっても、われわれの意志どおりに革命闘争と建設事業を推し進めることができなくなる。

不利な客観的形勢を前に踏み止まり立ち上がる力、主動性を持って難局を打開していく実際の力は、他でもない主体的力である。

わが党はこれまでの 5 年間、自力を増強するための頑強な攻撃戦を組織・展開し、前代未聞の挑戦と厳しい難関の中でも社会主義建設を一步前進させるための大切な元手を築き、この地に自存と繁栄の新時代、わが国家第一主義時代を開いた。自力が強ければ占領できない要塞、克服できない困難はあり得ない。

われわれが主体的力を一段と強めていく時、敵対勢力の反共和国孤立・圧殺策動をはじめ、いかなる外的要因にも無関係に朝鮮式社会主義建設を力強く前進させることができる。わが党が今回の大会で主体的力、内的動力強化を特に強調した理由がここにある。

党第 8 回大会の基本思想、基本精神には社会生活の各分野に内在している偏向と欠陥を成果裏に克服し、絶えず新しい前進の道を切り開くための基本要求が反映されている。

今回の大会では、国家経済発展 5 カ年戦略が科学的な打算と根拠に基づいてしっかり立てられず、科学技術が実際に国の経済活動を牽引する役割を果たさなかったことについて、また、不合理な経済活動システムと秩序を整備・補強するための活動が正しくなされな

った実態について具体的に分析・総括された。

これまで蔓延してきた誤った思想観点と無責任な活動態度、無能力をそのままにして、また、今のような旧態依然な活動方式をもっては、いつになっても国の経済を盛り立てられないということが、過去 5 年間の闘争を総括しながら見出した総体的な教訓である。

主体的力、内的動力は、われわれの内部が高度に整い、自力を十分に凝集させることができるようになってこそ、大きく増やすことができる。それゆえ今回の大会でわが党は、われわれの前進を阻む古い事業体系と不合理で、非効率的な活動方式、障害物を断固と取り除くための措置を講じることを強調した。

かつての過渡的な方式から脱皮し、図式主義を克服し、現実に即して対応することができない不合理な点を探し出し、早急に正すことが重要である。そうすることによって、今後達成すべき国家経済の展望目標をはじめとする社会主義建設のためのわれわれの闘争を、人民に実際の福利をもたらす偉大な革命事業にすることができる。

主体的力を強めていくうえでもっとも警戒すべきは、自画自賛と自己陶醉である。わが党は今までの党大会とは異なり、今回の大会で自らの活動を肯定的な面ではなく、批判的な見地で冷静に分析・総括した。決して成果が小さいからでない。それは新しい革新、大胆な創造、絶え間ない前進を志向・奨励し、主体的力、内的動力を非常に増やすことによって、社会主義建設の勝利的前進を加速化していこうとする、わが党の変わらない意志の噴出である。

すべての幹部と党員と勤労者が、わが党の志と意志を肝に銘じ、成し遂げた成果が大きいほど、やり遂げた活動で欠点はないのか、達成できたはずの目標なのに達成できなかったのは何であり、その原因はどこにあるのかと常に問題を提起し、積極的に改善していかなければならない。こうすることによってのみ、われわれの主体的力、内的動力を非常に強めていくことができる。

主体的な力を全面的に強化するというわが党の闘争路線と方針には、一日も早く人民に幸せな生活をさせようとする鉄石の意志が込められている。

人民を力強く守り、より高く押し上げ、うらやむものなく豊かに暮らすようにすることを第一使命としているわが党は、総括期間、強靱で大胆な気概と非凡な指導、献身的闘争で共和国を名実ともに世界的な核強国、軍事強国に浮上させ、大国がわが国家と民族の利益をほしいままに駆け引きしようとしていた時代を永遠に終わらせた。いかなる侵略勢力も絶対に神聖なわが国家を見くびることができなくなった条件の下で、今後残る課題は、人民が二度と苦勞を知らず、裕福で文明的な生活を思う存分享受するようにすることである。

主体的力、内的動力を強化し、人民の要求と利益を最優先、絶対視するわが党の優れた政策と施策が、立派に実を結ぶようにしてこそ、人民生活が裕福で文化的になる。

すべての幹部と党員と勤労者は、党第 8 回大会の基本思想、基本精神を心に刻み、社会主義建設の新しい勝利を早めるための闘争を力強く展開していくべきであろう。

## 過去 5 年の総括期間における成果の根本要因

労働新聞 2021 年 1 月 18 日

党第 7 回大会以降これまでの 5 年間は、果敢な攻撃戦で度重なる難関を強行突破してきた闘争の日々であった。総括機関、社会主義建設で誇るべき成果が成し遂げられた結果、新たな発展の時代、わが国家第一主義時代が開かれ、わが革命を加速化していける大切な元手が築かれた。

金正恩同志はつぎのように述べた。

「偉大な金日成・金正日主義を百戦百勝の旗印に高く掲げた朝鮮労働党が革命と建設を正確に導いており、党と人民大衆の一心団結の不敗の力があるがゆえに、わが革命はいかなる困難も打ち勝ち、力強く前進することでしょう」

党第 7 回大会決定を貫徹するためのこれまで 5 年間の闘争で収められた成果は、わが党の主体的な革命路線と賢明な指導がもたらした貴い結実である。

社会主義偉業は、厳しい挑戦と困難を伴うだけに、正しい闘争路線と戦略・戦術によってのみ上昇一路をたどるようになる。社会主義偉業に対する戦略・戦術的指導は政治的参謀部であり、領導的力量である革命的党だけができる。

革命の勝利は党の思想と路線、指導の勝利である。

「すべてを人民のために、すべてを人民大衆に依拠して!」、これは総括期間、わが党が寸分の狂いも、いささかの譲歩もなく、しっかりと堅持してきた指導思想の中核である。

信頼と献身、報いと信義に満ちた朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治によって、わが革命の政治・思想陣地が打ち固められ、いかなる障害と挑戦も切り抜けられる不敗の力が蓄積され、人民大衆中心の朝鮮式社会主義の優位性と生命力が浮き彫りになった。

敵の卑劣な制裁策動を自彊力増大、内的動力強化の絶好の機会に逆転させる攻撃的な戦略、すなわち、社会主義建設で恒久的に捉えるべき政治路線へと深化・発展したわが党の自力更生戦略は、社会主義建設における新たな飛躍と粘り強い前進を担保し促す貴重な礎となった。

国家核戦力建設大業の完成に続く発展は、わが党の並進路線と指導力の勝利である。

領土と人口もそれほど大きくなく、帝国主義反動の四面包囲の中にあるわが共和国の対外的地位が飛躍的な上昇変化を遂げた基底には、朝鮮労働党の大胆な路線転換と攻撃的な戦略、絶妙な対外活動があった。

党第 8 回大会の輝かしい設計図にしたがって進むわれわれの前途には、相変わらず無視できない挑戦と困難が横たわっている。しかし、党の思想と意図通りにだけすれば、不利なすべての主客観的要因を十分に克服し、社会主義建設における膨大な課題を容易に解決できるということが、わが人民の胸の中に刻み込まれた強靱不変の信念である。

金正恩委員長を総書記に高く戴いた百戦百勝の朝鮮労働党の指導があるがゆえに、わが人民は勇気百倍、意気高く社会主義偉業の新たな勝利に向けてより力強く進軍していくであろう。

党第 7 回大会以降、これまでの 5 年間の闘争における成果は、全人民が党の周りに固く団結した偉大な一心団結にその源泉がある。

総括期間、わが共和国をめぐる対外環境は建国以来、類がなく厳しかったが、われわれは他の者が想像もできない大きな成果を収めた。

党第 7 回大会決定貫徹のための屈することない闘争の中で収められた勝利は一言で、自存と繁栄の新時代、わが国家第一主義時代を開いたことだと特徴づけられる。

非常に高まった共和国の総合的国力と尊厳、対外的地位は、決して歳月がもたらした偶然ではない。これは党の思想と偉業を絶対的に支持し、一心同体となって忠実に支えてきたわが人民の偉大な団結力がもたらした歴史の必然である。

わが革命の多難な歴史が圧縮された先鋭的な瞬間に至ったこれまでの 5 年間の厳しい試練を、純粹に客観的な条件や実務的な見地でとらえると、絶対に立ち上がることができないという結論しか導けない。

わが党と人民はこの世に唯一無二の絶対兵器である一心団結の威力で、万難を果敢に踏み越え、立ち上がったし、主動性を持って継続革新、継続前進してきた。

もし、われわれが敵対勢力の必死の圧迫封鎖策動に、一心団結の戦略で断固と対応することができず、未曾有の災難と災害の中で互いに助けあう集団主義的美風、全人民的な自

発的-致性を發揮することができなかつたならば、高貴な闘争で培つたすべてが一瞬で光を失い、自存と繁榮の新時代も生むことができなかつたであらう。

党の周りに一心団結した人民の力こそ、いかなる大業も成就させ、如何なる試練も強行突破できる最強の力なのである。

今日わが人民は一心団結の不敗の力で、党大会が打ち出した新しい闘争目標を必ず達成し、社会主義の進軍速度を倍加していく火のような一念で胸を膨らませている。

党中央と思想と志を共にし、生死苦樂も共にしていくわが人民の革命的進軍は、何によつても遮ることができない。

すべての幹部と黨員と勤労者は、党への尽きることのない忠誠心と剛勇な奮発力を持って、党第 8 回大会決定貫徹のための神聖で、責任ある闘争で自分の使命と本分を全うしていくべきであらう。

## 新たな国家經濟發展 5 カ年計画の中心的課題 労働新聞 2021 年 1 月 19 日

歴史的な朝鮮労働党第 8 回大会では、經濟の持続的な上昇と人民生活の明確な改善・向上を成し遂げるための新 5 カ年計画を打ち出し、中心的課題を明確に示した。

金正恩同志はつぎのように述べた。

「新たな国家經濟發展 5 カ年計画の中心的課題は、金属工業と化学工業を經濟發展のキーポイントとし、基幹工業部門間の有機的連携を強めて実際の經濟活性化を促し、農業部門の物質的・技術的土台を強固にし、軽工業部門で原料の国産化の比重を高めて人民生活を一段と引き上げることです」

社会主義經濟建設は今日、われわれが総力を集中すべき最も重要な革命課題である。

經濟問題さえ解決すれば、朝鮮式社会主義の優位性をいっそう力強く誇示し、その勝利的前進を加速化することができる。

經濟問題を早急に解決するためには、主要攻略対象を正しく定め、そこに力を集中すべきである。

新国家經濟發展 5 カ年計画の中心的課題はまず、金属工業と化学工業を經濟發展のキーポイントとし、基幹工業部門間の有機的連携を強化して実際の經濟活性化を積極的に推し進めていくことである。

金属工業と化学工業は經濟建設の二本柱である。金属、化学工業部門が奮起してこそ、人民經濟の自立性と主体性が強化され、全般的發展と高い發展速度が保障される。金属工業と化学工業發展を先行させる原則で国家的な經濟組織活動を綿密に行い、鉄鋼材生産と化学製品生産能力を大幅に伸ばすために、国の經濟力を最大限、合理的に動員利用し、金属工業、化学工業部門から正常軌道、活性化段階へとしっかり引き揚げるべきである。

人民經濟の活性化を実現するうえで、基幹工業部門間の有機的連携を強めることが重要である。社会主義經濟は、すべての部門が不可分に連結された大規模な集團經濟である。

社会主義經濟建設全般の成否は、主として人民經濟の根幹をなす基幹工業部門がいかに發展し、相互作用するのにかかっている。金属工業と化学工業、電力工業、石炭工業、機械工業、採掘工業をはじめとする基幹工業部門間の有機的連携を強化していくとき、わが經濟はいかなる外部的影響にも左右されることなく円滑に運営され、持続的に上昇するようになる。

中心的課題はまた、農業部門の物質的・技術的土台を強化し、軽工業部門に原料、資材を円滑に保障して一般消費財生産を増やすことである。

農業部門は社会主義經濟建設の主要攻略部門である。農業部門で穀物生産を決定的に増

やしてこそ、人民の食の問題、食糧問題を解決できる。

かつてわれわれの農業勤労者は、ひどい干ばつと大水が続き、あらゆるものが不足する中でも、科学農業、多収穫熱風を勢いよく巻き起こし、この過程で党の科学農業方針通りに行いさえすれば、不利な自然地理的条件下でもいくらかでも穀物生産を増やしていけるといいう確固たる信念を持つに至った。党第 8 回大会決定貫徹のための闘争に立ち上がった農業部門の幹部と勤労者は意気込みは高い。

農業勤労者の高揚した熱意にしっかりした物質的・技術的土台が裏付けられるならば、農業生産で確実に誇れる成果を達成できる。

われわれは、種子革命、科学農業、低収穫地における増産、新土地探しと海面干拓に力を注ぎ、農村経営の水利化、機械化を戦略的課題として堅持し、農村に対する国家的支援を強化していくことによって、党が示した穀物の生産目標を必ず達成し、食糧の自給自足を確固と実現すべきである。

軽工業は、人民に裕福で文明的な生活を提供するうえで絶対的な位置を占める。

軽工業部門で一般消費財生産を正常化・活性化してこそ、人民生活を偏ることなく安定的に向上させることができる。

一般消費財生産で提起される優先的な問題は、原料・資材の保障である。消費品に対する人民のニーズを満たすには、軽工業部門の工場の現代化を推し進め、弱い部分と工程を補強し、ない部分と工程を備えるとともに、原料・資材の問題を決定的に解決しなければならない。

軽工業部門の生産を正常化するための根本的方途は、原料・資材の国産化、再資源化を実現するところにある。

われわれの力、われわれのもので、一般消費財生産を正常化していくとき、人民生活が安定的に向上し、実際的な変化が起きるようになる。

すべての幹部と党員と勤労者は、新国家経済発展 5 カ年計画実行のための闘争で高い責任感と献身性を発揮し、各々の部門、各々の単位の仕事で明確な発展をもたらすべきである。

## 全党がより高く掲げるべき三つの理念

労働新聞 2021 年 1 月 22 日

党の指導力と戦闘力を全面的に強化し、われわれの主体的力、内的動力を増大して朝鮮式社会主義の全面的発展を成し遂げていようとするのは、金正恩総書記同志の変らない信念であり意志である。

金正恩同志はつぎのように述べた。

「わが革命の前に提起された重大な歴史的課題は、全党が以民為天、一心団結、自力更生をいま一度肝に銘じ、さらに高く掲げていくことを求めています」

朝鮮革命の戦闘的行路は、以民為天と一心団結、自力更生の偉大な思想と精神で開拓され、前進してきた栄光に満ちた歴史として輝いている。

総書記同志は党第 8 回大会で行った結論で、「以民為天」、「一心団結」、「自力更生」にこそ、わが党の指導力を強められる根本的な秘訣があり、わが党が大衆の中にいっそう深く根をおろすための根本的方途があり、われわれが唯一に生き続け、前途を開くことのできる根本的保証があると強調した。

以民為天には、全党が人民に奉仕することを党建設と党活動の出発点であり、絶対不変の原則とする革命的党風を確固と堅持することに関するわが党の恒久的な要求が反映されている。

人民を天と見なし、人民のためにすべてを捧げる以民為天は、わが党の一貫した政治哲学である。わが党の指導思想である金日成・金正日主義は本質上、人民大衆第一主義であり、わが党の存在方式も、党活動の最高原則も人民のために滅私奉仕し、彼らがこの世にうらやむものがないほど豊かに暮らすようにすることである。

人民を生命の根と見なし、人民の利益と便宜を最優先・絶対視してきたがゆえに、わが人民は、党を運命の灯台、永遠なる生命の懐として信頼し従うようになった。

わが党は自らの赤い旗にハンマーと鎌と筆を刻み込んだ時から、人民と片時も離れたことがなく、つねに人民に依拠して革命を前進させてきた。歴史の厳しい難局の中でわが党が信じたのは、唯々偉大なわが人民だけであつたし、わが人民は朝鮮労働党のまたとない支持者、助言者、援助者であつた。75年の歳月、一途な心で党だけを絶対的に支え、党の偉業を自らの血と汗で守ってくれたわが人民がいたので、わが党はつねに泰然自若とし、革命の全道程を勝利と栄光で織り成すことができた。

わが党にとって人民より貴重な存在はなく、人民の利益より神聖なものはない。

「すべてを人民のために、すべてを人民大衆に依拠して！」、これは、わが党が寸分の狂いも、いささかの譲歩もなく、しっかりと堅持している指導思想の中核である。すべての党組織と幹部は、わが党の以民為天の理念、人民大衆第一主義政治を高く掲げ、人民に無限に仕え、為民献身の道で決死の覚悟をもって奮闘すべきである。

党活動を親人民的、親現実的な活動に転換させ、権勢と官僚主義、不正腐敗行為との闘争を力強く展開する時、わが党の指導力と戦闘力は倍加され、チュチェの革命的党、母なる党の性格と本来の姿がより一層はっきりと浮き彫りになるであろう。

一心団結と自力更生には、わが革命の生命線と前進動力に関する思想・理論的観点と政策的要求が含蓄されている。

チュチェの社会主義偉業は類がないほど困難で複雑な環境下で前進してきた。わが革命が勝敗と進退を決する試練の峠を、一大全盛期、跳躍期に逆転させ、社会主義の進路を成功裏に切り開いてこれたのは、決して天が与えた偶然ではない。そのすべての奇跡と勝利をもたらした神秘的な力は、他ならぬわが人民の団結力、自力更生、刻苦奮闘の精神力である。敵対勢力の孤立・圧殺策動が悪らつになり、厳しい困難が横たわるほど、全人民と人民軍将兵たちが党の周りに思想・意志的に、道徳・信義的により一層固く団結し、自立、自力の旗印をさらに高く掲げた結果、朝鮮式社会主義はいささかの沈滞と足踏みもなく、上昇一路をたどることができた。一心団結は、わが革命の天下の大本、朝鮮式社会主義の不敗の威力であり、自力更生はわれわれの前進方向、発展方式だということが長く久しい闘争の中で確証された鉄の真理である。

社会主義の新たな勝利に向けたわれわれの進軍路には、依然として重大な挑戦と困難が横たわっており、力に余る正面突破戦を覚悟しなければならない。一心団結の威力、自力更生の創造大戦で最悪の形勢と試練を踏み越え、屈することなく前進してきたわが人民にとって克服できない困難はあり得ない。チュチェ朝鮮特有の団結力と自彊力で現存の脅威と挑戦を果敢に突破し、朝鮮式社会主義の剛勇な気概と必勝不敗性をことごとく誇示しようとする鉄の信念が千万の胸に刻み込まれている。

党の構想と決心を絶対的に支え、徹底的な行動実践で支えるわが人民の尽きることのない忠誠心と自力更生の精神があるがゆえに、われわれの勝利は確定的である。

すべての幹部と党員と勤労者は、わが党の「以民為天」、「一心団結」、「自力更生」の理念を心に刻み、活動と生活に徹底的に具現すべきであろう。

## 為民献身は幹部の使命であり、本分である 労働新聞 2021 年 1 月 23 日

金正恩同志は党第 8 回大会で偉大なわが人民を運命の天と見なし、真の人民の忠僕らしく為民献身の道に決死の覚悟で奮闘することを厳かに宣誓した。

いま、わが幹部は党中央と思想と志、歩調を共にし、為民献身の足跡をはっきり刻んでいく火のような誓いで胸を膨らませている。

人民に奉仕するのは幹部の使命、本分である。

金正恩同志はつぎのように述べた。

「偉大な金日成・金正日主義は本質上、人民大衆第一主義であり、わが党の存在方式は人民に奉仕することです」

為民献身は一言で、人民のために身を尽くすということである。言い換えれば、人民を最も貴重な存在と見なし、人民のためにすべてを捧げて闘う真の服務者の姿勢と立場を意味する言葉である。

為民献身の道は誰もが容易に歩める道でなく、一生を捧げても限りのない人民のための服務の道である。この道は人民のためには、抱えた悩みと苦勞を楽ととらえて自らの苦惱と血と汗の代価として、人民の笑みを花咲かすことができるならば、それを人生の最大の幸福と生きがいと見なす、朝鮮の革命家以外には誰も簡単に選択できない人民愛の道、人民幸福のための創造と建設の聖なる道程である。

わが幹部にとって、人民のために捧げた人生、人民のための献身より大きな生きがいと誇りはない。

為民献身は人民を天と見なす崇高な人民観に基づいている。

人民のために忠実に服務するには、人民大衆に対する見解と観点を正しく持つことが重要である。

正しい人民観を持った人にだけ、人民のために献身する真の服務者の姿勢が生まれる。

この世には国も多く、国ごとに人民はいる。しかし、わが人民のように勤勉で、素朴ながらも正義を愛し剛直な人民、党の後について革命の千万里の道を力強く歩む立派な人民はいない。

金日成同志と金正日同志が天と見なしたわが人民を、純粹に金日成同志と金正日同志として胸に刻み、戴くように支えて行こうということが、わが党の確固不動な立場である。

わが党はすべての幹部が崇高な人民観を備え、人民のために誠実に働いていく使者になることを一貫して強調している。

人民のための献身は言葉ではなく実践であり、行動である。寝ても覚めても、自らの地域、自らの単位の住民と従業員の生活向上問題について常に頭を働かせ、全力を傾ける献身的な服務者としての姿勢、ひとつでも多く人民のためになる創造物、実質的な結果をもたらすことにはかり知れない誇りと喜びを感じる奉仕精神は、まさにチュチェの人民観でしっかり武装した幹部に共通する徴表である。

人民を天とみなすわが党の気高い人民観を骨に深く刻む時、人民のための滅私奉仕の道を一寸の逸脱もなくまっすぐに歩むことができる。

為民献身は人民の信頼に何としても報いようとする崇高な使命感に基づいている。

革命する者にとって最も貴い富は、人民から与えられる信頼である。

わが幹部は、人民のために忠実に服務することを盟約した職業的な革命家、政治活動家である。幹部は誰もが人民の中から生まれ、人民の支持の中で指揮者となった人々である。幹部にとって人民の信頼より貴重なものはなく、人民から愛され尊敬されることより他に

大きな表彰はない。

幹部が担った職務の高さは即ち、人民の信頼と期待の高さであり、人民のために滅私奉仕すべき責任感の高さである。

信頼には報いと献身が伴わなければならない。自分を信じて推薦してくれた人民に忠実に服務するのは、わが幹部の当然の本分、道義である。幹部の荣誉と誇りは看板や権限、待遇にあるのではなく、人民の信頼と期待を命脈として胸に刻み、人民のために全身全霊を注ぐところにある。人民の信任が大きいほど人民の前では限りなく率直、誠実でなければならず、職位が上がるほど人民の中により深く入り込むべきは幹部の姿勢、本道である。つねに人民の期待と信頼を生活のすべてとみなし報いる一念で心臓の血をたぎらせる幹部だけが、人民のための滅私奉仕の道に明確な痕跡を残すことができる。

今日、総書記同志は、わが祖国をより強大で、裕福にし、わが人民により大きな幸福をもたらすために不眠不休の労苦と心血を注いでいる。常に人民に対する考えで眠れず、人民のための現地指導の道を休みなく続ける総書記の為民献身の歩みに心臓の鼓動を合わせ、生き闘っていく幹部がまさに、党に限りなく忠実な幹部である。

すべての幹部は、以民为天の崇高な理念を骨の奥深く刻み、人民大衆第一主義に限りなく忠実であり、朝鮮式社会主義建設の新しい勝利を獲得するための聖なる闘争で革命の指揮者としての責任と本分を立派に遂行していくべきであろう。

## 第 8 回党大会から始まる革新と創造 朝鮮新報 2021 年 1 月 13 日

### 自らの力で新たな高揚期をつくる

朝鮮は自らの力を信じ、自らの力に依拠して「次のステージ」に移行する。変化する情勢に積極的に対処することで「朝鮮式社会主義の新たな高揚期、激変期」をつくりだす。朝鮮労働党第 8 回大会は、そのプロセスにおける大きな分水嶺となった。

### チュチュエの思想、理論の集大成

金正恩委員長は大会で 9 時間にわたり党中央委員会第 7 期活動報告を行った。報告の真髓は「自らの力、主体的力量をあらゆる面から強化し、現存する脅威と挑戦を果敢に突破して、ウリ（我々）式の社会主義建設で新たな飛躍を起し確かな前進を遂げなければならないということ」（朝鮮中央通信）だ。ここには、労働党の指導思想である金日成一金正日主義、チュチュエ（主体）の思想と理論が集大成されている。委員長は党大会の開会辞で、今大会が労働党の創建者、建設者である先代領袖の革命思想と偉業に忠実であると宣誓したが、その意志は活動報告の内容に貫かれていた。

労働党はいつの時代も革命と建設における主体の作用と役割を重視した。客観的要因の支配を受け、それに順応する道を探すのではなく、領袖と党、人民大衆が固く結束し、主体を強化することで客観的要因が自らに支配されるようにした。客観的条件を後退と沈滞の原因と捉えると外的要因がなくなる限り何もすることができない。自らの力、主体的力量を強化してこそ、現存する難関を最も確実に最も早く突破することができる。それがチュチュエ思想で武装した社会主義政権党の観点であり立場だ。

主体を強化する方途には二つの側面がある。一つは、金日成主席、金正恩総書記の座右の銘であった「以民为天（人民を天のごとくみなす）」の理念を具現した人民大衆第一主義の政治を一貫して実施し、党と人民の一心団結を固めること、もう一つは、内部の欠陥、非正常で不合理な現象を放置せず、それを是正、克服することで内部の潜在力を余すところなく発揮させることだ。

第8回党大会を控えた4ヶ月間、党中央委員会は第7回党大会(2016年5月)決定の執行状況を分析総括した。そのために、中央党の各部署と全国の党組織の活動資料を総合するにとどまらず、非常設の中央検閲委員会を組織し、事業の現場に派遣して実態を調査した。決定遂行における誤りの原因は何か、党の指導にどのような過失、寛怠があったかについて現場で働く労働者、農民、知識人党員の意見を聞いた。真相を直視し、先代領袖から受け継いだ「以民为天」の理念を徹底的に実践した。

大衆の意見に基づき党大会の準備が進められる過程で、人民のための対策、現実的で実効性のある方略が立てられた。そして数百万の労働党員と数千万の朝鮮人民の運命と英知を代表して五千人の代表者が第8回党大会に参加した。代表者たちは「以民为天」の理念と人民大衆第一主義思想で貫かれた金正恩委員長の報告を聴取しながら、自分たちの部門、現場における5年間の事業実態を振り返った。

### 欠陥と教訓を前進と飛躍の足掛りに

党中央委員会が事前予告したように8日間にわたり行われた第8回党大会は「働く大会、闘う大会、前進する大会」となった。第7回党大会決定の執行過程に露呈した欠点と教訓が分析評価され、それを前進と飛躍の足掛りにするための方策が提起された。放置すればより大きな障害となり得る欠陥を大胆に認めて、再びそのような誤謬を繰り返さないために断固たる対策を講じるという胆力こそが、今大会の特徴であった。

一方、第7回党大会で示された国家経済発展5カ年戦略の目標が、ほぼすべての部門で未達成に終わるなど、多くの分野で欠陥が露になったが、これは新たな発展段階、社会主義偉業を前進させる過程で現れた偏向であり、自らの知恵と努力でいくらでも是正、解決することができるという確信も表明された。

実際に朝鮮には新たな前進と飛躍を遂げるための担保がある。党大会報告でも言及されたように述べたように第7回党大会開催後、激動の5年間に朝鮮は「勝利のステージ」をすでに経験した。党員も人民もそれを実感している。

何よりも、人民大衆第一主義の政治が全面的に実施され、社会主義建設の主体が強化された。チュチェ思想を具現した労働党の自力更生戦略は、米国を筆頭とする敵対勢力の制裁策動を自強力(自らを強くする力)増大と内的動力強化の機会に反転させ、自立的民族経済の命脈を守りぬく過程で経済を再整備し発展させるための新たな潜在力が蓄積された。また、ICBM試射成功による国家核武力の完成と持続的発展、新型先端兵器の開発完成によって朝鮮の軍事技術的強勢は不可逆的なものとなった。これは朝鮮を勝利に輝く「次のステージ」へと導く労働党の戦略的構想実現において大きな意義を持つ。また、戦略国家の位相に相応しい積極外交を展開したことで、朝鮮の対外的地位は飛躍的に上昇し、周辺大国との伝統的な友好協調関係と社会主義諸国との連帯が強化された。

現在の内外情勢は5年前とは大きく異なる。そして朝鮮の前進を妨げている障害は、外部にも内部にも存在する。第8回党大会は、過去の事業を欠陥と教訓を中心に分析、総括するとともに「党と国家の全般事業を新たな革新、大胆な創造、不断の前進を目指し、奨励する方向にしっかりと転換」させることを闡明した。

コロナ禍と加速化する社会の分裂、対立など、過酷な挑戦と不安に満ちた今日の世界において、朝鮮が内部の古いシステムと不合理で非効率的な秩序を一掃し、内なるパワーを全面的に整理整頓、再編成することによって、外部のいかなる妨害もものともせず、発展の道を突き進むならば、そのような朝鮮の動向は今後の内外情勢の変化発展に大きなインパクトを与えることになる。

### 「わが国家第一主義時代」の目標

第 8 回党大会で示された国家経済発展 5 年計画の核心、主題は依然として自力更生・自給自足である。経済のシステムと部門間の有機的連携を復旧整備し、自立的基盤を固め、いかなる外的影響にも揺らぐことなく朝鮮経済を正常軌道に乗せることを計画の目的としている。

このように第 8 回党大会は、現実に即しながら第 7 回党大会が開催された 5 年前よりも意欲的かつ大胆な目標を掲げた。そこに至る経緯と背景に注目する必要がある。この期間に朝鮮が達成した「勝利」の特徴は、「わが国家第一主義の時代」を切り開いたことにあるという。金正恩委員長が行った党大会報告は、それをあらゆる挑戦を乗り越え独自の力を増大させた結果として誕生した「自尊と繁栄の新時代」だと説明している。

まさにそのような自尊心から出発して対外活動の方針と目標を「社会主義建設を政治外交的に担保する」ことと規定し、対外活動の焦点を「朝鮮の前進を妨げている障害、最大の主敵である米国を制圧、屈服させる」ことに合わせると言明した。今後も「強対強、善対善」の原則で米国に対峙するという党大会報告の内容も「わが国家第一主義の時代」を生きる労働党員と全人民の総意を反映したものだ。

朝鮮を敵視してきた国々では、新年を迎えても人々が一寸先を見通せない困難な状況に置かれ、社会的な不安と危惧が続いている。一方、第 8 回党大会を通じて確認されたのは、今後の内外情勢の変化発展で主導権を握ることに対する労働党の自信感だ。朝鮮はさらに強大になる。そのための指針、国内の潜在力を余すところなく発揮するための方略を示した金正恩委員長の活動報告は、朝鮮中央通信などメディアを通じて要旨のみが公開されが、党大会参加者が 9 時間をかけて聴取した報告の詳細と労働党の戦略戦術が反映された党大会決定書は、党内限定本としてすべての組織に伝達、浸透されるという。朝鮮のすべての部門、現場で報告の内容に則して、自らの力を強化し、主体的力量によって難関を突破していくための闘いが始まる。「次のステージ」に向けた朝鮮の歩みは、どの国も阻止することはできない。